

令和6年度第1回千葉県図書館協議会配付資料一覧

- ・ 座席表
- ・ 次 第
- ・ 千葉県図書館協議会委員名簿
- ・ 千葉県図書館協議会関係条例・規則
- ・ 千葉県立図書館各館長等一覧
- ・ 資料1 令和5年度事業報告
- ・ 資料2 千葉県立図書館行動計画（令和3年度～5年度）の評価
- ・ 資料3 千葉県立図書館行動計画（令和3年度～5年度）の実施状況
及び自己評価一覧
- ・ 資料4 令和6年度事業計画
- ・ 資料5 千葉県立図書館行動計画（令和6年度～8年度）
- ・ 資料6 千葉県立図書館行動計画の評価指標 対照表
- ・ 資料7 電子書籍の活用促進について
- ・ 資料8 千葉県立図書館サービス計画（素案）について
- ・ 要覧（令和6年度）
- ・ 各館の館報等

○参考：千葉県教育委員会ホームページ公開資料（会議当日各委員の机上に準備）

- ・ 千葉県立図書館基本構想（平成30年1月千葉県教育委員会策定）
- ・ 新たな知の拠点づくりへの提言
（平成30年10月新たな「知の拠点」づくり有識者検討会議）
- ・ 新千葉県立図書館等複合施設基本計画
（令和元年8月千葉県・千葉県教育委員会策定）
- ・ 新千葉県立図書館・県文書館複合施設整備計画
（令和3年8月千葉県・千葉県教育委員会策定）
- ・ 新千葉県立図書館・県文書館複合施設建築工事基本設計（令和5年6月千葉県）

令和6年度第1回千葉県図書館協議会 次第

日 時 令和6年7月25日（木）

午後2時から

場 所 千葉県立西部図書館研修室

1 開 会

2 議長あいさつ

3 議 事

（1） 令和5年度事業報告について（報告）

- ・ 千葉県立図書館行動計画（令和3～5年度）の評価
- ・ 千葉県立図書館行動計画（令和3～5年度）の実施状況及び自己評価

（2） 令和6年度事業計画について（報告）

- ・ 千葉県立図書館行動計画（令和6～8年度）
- ・ 千葉県立図書館の評価指標

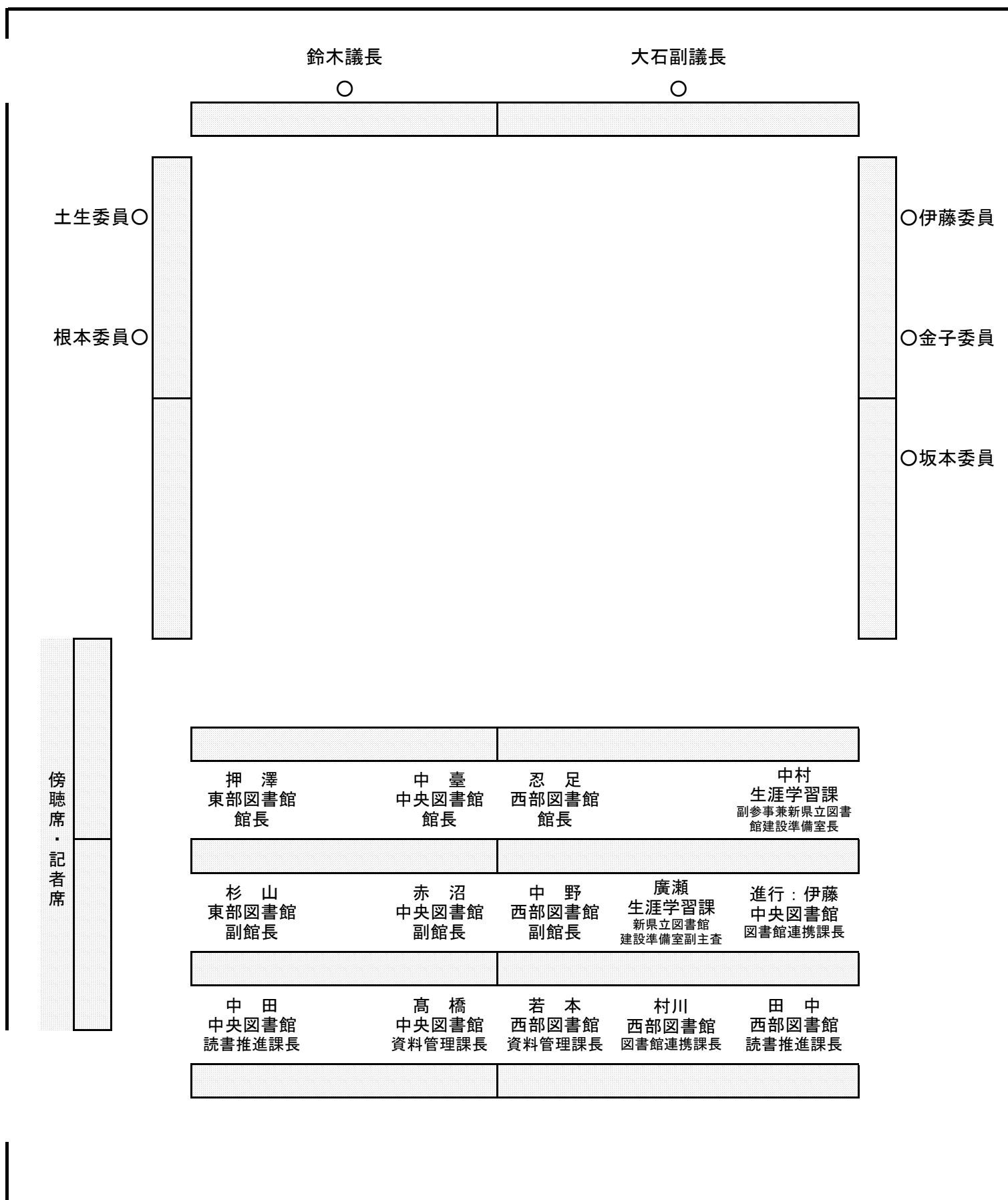
（3） その他

- ・ 電子書籍の活用促進について
- ・ 千葉県立図書館サービス計画（素案）について

4 その他

5 閉 会

令和6年度第1回千葉県図書館協議会 座席表



千葉県図書館協議会委員名簿（第37期）

任期 令和5年7月22日～令和7年7月21日

No.	氏 名	所 属 等
1	伊藤 明美 いとう あけみ	千葉大学非常勤講師 (社会福祉法人芳雄会図書顧問・司書)
2	植村 八潮 うえむら やしお	専修大学文学部教授
3	大石 由香 おおいし ゆか	山武市松尾図書館長 (千葉県公共図書館協会理事)
4	金子 和男 かねこ かずお	千葉県立松戸南高等学校長 (千葉県高等学校教育研究会学校図書館部会副会長)
5	坂本 知子 さかもと ともこ	千葉県PTA連絡協議会副会長
6	○ 鈴木 宏子 すずき ひろこ	前千葉大学附属図書館利用支援企画課長
7	根本 彰 ねもと あきら	東京大学名誉教授
8	橋本 房子 はしもと ふさこ	千葉県特別支援学校PTA連合会副会長
9	土生こずえ はぶ こずえ	木更津市立八幡台小学校長 (千葉県教育研究会学校図書館教育部会副会長)
10	間部 豊 まべ ゆたか	帝京平成大学人文社会学部准教授

[敬称略 五十音順] ○：議長

令和5年7月22日現在

千葉県図書館協議会関係条例・規則

教育機関設置条例(抜粋) (昭和三十二年四月一日条例第四号)

(図書館協議会)

第五条 図書館に図書館協議会を置く。

2 図書館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命する。

3 前項の委員の定数は、十人以内とする。

4 第二項の委員の任期は二年とし、欠員の生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 前三項に定めるもののほか、図書館協議会の組織及び運営に関して必要な事項は、千葉県教育委員会が定める。

図書館協議会会議運営規則 (昭和二十六年八月三十一日教育委員会規則第十号)

第一条 図書館協議会会議（以下「会議」という。）には、委員の互選による議長及び副議長一人を置くものとする。

第二条 議長及び副議長の任期は二年とする。

第三条 議長は会議を主宰する。

第四条 副議長は、議長を助け、議長に事故あるときは、その職務を行う。

第五条 会議は、議長が招集する。

第六条 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

2 会議の議決は、出席者の過半数で決める。

第七条 会議開催の場所及び日時は、会議に付議すべき事件とともに、議長が、あらかじめこれを通知しなければならない。

第八条 招集は、開会の日前、七日までに、これを通知しなければならない。ただし、急を要する場合はこの限りでない。

第九条 会議は、定例会及び臨時会とする。

第十条 定例会は、年三回以上これを招集しなければならない。

第十一条 臨時会は、必要がある場合においてその事件に限りこれを招集する。

第十二条 会議招集の通知後に急を要する事件があるときは、第七条の規定にかかわらず、直ちに、これを会議に付議することができる。

第十三条 関係職員は、会議に出席して意見をのべることができる。

第十四条 この規定に定めるもののほか、会議に必要な事項は別にこれを定める。

第十五条 会議に関する庶務は千葉県立中央図書館で行う。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (昭和六十二年四月一日教育委員会規則第二号)

この規則は、公布の日から施行する。

令和6年度千葉県立図書館各館長等一覧

中央図書館	西部図書館	東部図書館
館長 ナカダイ カズヒト 中 臺 一 仁	館長 オシダリ テツヤ 忍 足 哲 也	館長 オシザワ ヒロコ 押 澤 裕 子
副館長 アカスマ チサト 赤 沼 知 里	副館長 ナカノ アキコ 中 野 晶 子	副館長 資料管理課長 事務取扱 スギヤマ ユウコ 杉 山 裕 子
庶務課長 サタケ キョウ 佐 竹 き よ 枝	庶務課長 マツイ シンイチ 松 井 真 一	庶務課長 ヨシノ マサユキ 吉 野 真 如
読書推進課長 ナカダ エミ 中 田 江 美	読書推進課長 タナカ マサミ 田 中 雅 美	読書推進課長 イトウ ケンジ 伊 藤 健 司
資料管理課長 タカハシ マサナ 高 橋 正 名	資料管理課長 ワカサキ トモコ 若 本 朋 子	資料管理課長 ヤブ リョウタ 藪 竜 太
ちば情報課長 オオモリ サヤカ 大 森 明 香		
図書館連携課長 イトウ タカシ 伊 藤 孝	図書館連携課長 ムラカフ サチコ 村 川 幸 子	図書館連携課長 オオishi ユタカ 大 石 豊

Ⅱ 令和 5 年度事業報告

【概 況】

千葉県立図書館運営方針に基づき、3館の密接な連携により、市町村立図書館等への援助、県内の中核的調査研究図書館としての情報・資料の提供、図書館未設置市町村の読書施設に対する資料援助や運営相談及び職員研修、高等学校・大学及び類縁機関等との連携など幅広い図書館活動を行った。

県立図書館が大正13年（1924年）3月に「御成婚記念千葉県図書館」として旧物産陳列館（現千葉県庁南庁舎付近）を仮館舎にして開館してから100周年となったことから、「100周年記念事業」を実施した。

なお、「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」については、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更になったことに伴い、令和5年5月8日をもって廃止した。

図書館事業概要

項目		館名	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計
資料整備	資料総数	受入冊数	8,212 冊	4,539 冊	2,709 冊	15,460 冊
		(内購入冊数)	(5,031 冊)	(3,938冊)	(2,581 冊)	(11,550 冊)
		図書購入費	20,385 千円	21,214 千円	11,613千円	53,212 千円
	蔵書数		852,429 冊	299,651 冊	292,771 冊	1,444,851 冊
	新聞・雑誌・法規集		76紙・3,836誌・3種	37紙・527誌・0種	20紙・239誌・0種	133紙・4,602誌・3種
サービス業務	利用状況	入館者数	41,551 人	96,212 人	122,578 人	260,341 人
		登録者数	12,997 人	13,017 人	6,565 人	32,579 人
		個人貸出	46,161 冊	40,003 冊	19,236 冊	105,400 冊
	資料複製サービス		94,645 枚	41,085 枚	4,690 枚	140,420 枚
	参考調査 照会・質問		6,750 件	4,132 件	5,628 件	16,510 件
労務	県立図書館蔵書貸出冊数		39,333 冊	17,530 冊	26,036 冊	82,899 冊
	市町村立図書館等蔵書の相互貸借冊数		52,739 冊	42,585 冊	15,794 冊	111,118 冊
県内人口(令和6年4月1日)			6,270,470 人			

《備考》 蔵書数にはマイクロ資料、視聴覚資料を含む。

【業務内容】

第1 県内図書館の中核としての役割

1 市町村の読書環境充実のための支援

(1) 資料搬送ネットワークの維持・改善（図書館協力業務）

「読書県ちば」を目指し、市町村立図書館及び図書館未設置市町村公民館図書室等に対して、相互貸借資料の搬送や運営相談、協力レファレンス等の援助を行った。また、高等学校・大学及び類縁機関等と連携し、読書活動の充実に努めた。

ア 資料の図書館間貸出し

市町村立図書館及び図書館未設置市町村公民館図書室等の求めに応じて、資料の図書館間貸出しを行った。

イ 図書館連絡車・協力車巡回

業者委託により県立図書館3館の間で連絡車を巡回させ、県内の全ての市町村立図書館等に対して週1回定期的に協力車を巡回し、県立図書館及び市町村立図書館等の相互貸借資料を搬送した。

ウ 協力レファレンス

市町村立図書館等からの所蔵調査・資料調査・事項調査等の調査・相談等に対し、データベースや図書館資料を使って支援を行った。

エ 高等学校・特別支援学校・大学及び類縁機関等との連携

県内の高等学校・特別支援学校・大学及び類縁機関等の調査・相談等に対し、資料提供や協力レファレンス、研修等を行った。

オ 図書館未設置市町村支援

図書館未設置市町村の公民館図書室など読書施設に対し、資料の貸出しや協力レファレンス、教科書単元・テーマ別資料リストの周知、運営相談等の支援を行った。

なお、小・中学校教科指導で使える資料リスト（「千葉県の民話」「千葉県にゆかりのある人物」）について、自治体の小・中学校等への周知を依頼するなど広報活動をしたこともあり、小・中学校からは824冊の依頼があった。

カ 担当者会議の開催

市町村立図書館等の相互協力担当職員を対象に、相互協力業務の確認や情報交換を行い、相互協力の円滑な推進を図るための会議を開催した。

- ・中央図書館（市町村立図書館相互協力担当者会議 4月25日（火）26人出席）
- ・西部図書館（管内市立図書館相互協力担当者会議 5月18日（木）22人出席）
- ・東部図書館（市町立図書館等相互協力担当者会議 4月28日（金）15人出席）

キ その他

県立図書館ホームページの「図書館員のページ」に、研修の内容や資料をその都度掲載し、不参加であっても研修内容等を確認できるようにした。

（２）図書館等運営相談

全市町村を訪問し、各図書館の課題等について運営相談を行った。図書館の管理・運営やサービスに関する質問を市町村立図書館等から受け付けるとともに、定期的に施設訪問し、図書館運営相談等に応じた。

- ・中央図書館（電話やメールでの相談：60回と、奉仕対象30市町村へ延べ40回の訪問運営相談を実施し、合計153件の運営相談に応じた。※訪問は年1回、希望のあった館は2回。）
- ・西部図書館（電話やメールでの相談16回と、11市の中心館に対し各1回の訪問運営相談を実施し、合計60件の運営相談に応じた。）
- ・東部図書館（電話やメールでの相談29回と、13市町の図書館及び公民館図書室等18施設に対し各2回の訪問運営相談を実施し、合計78件の運営相談に応じた。）

（３）その他

ア 新聞・雑誌総合目録の整備

千葉県公共図書館協会加盟の市町村立図書館等や、文書館行政資料室、県立保健医療大学図書館、さわやかちば県民プラザで所蔵する新聞や雑誌の総合目録を更新してホームページ上で公開した。

イ 読書活動支援

県内の読書活動を推進するため、市町村立図書館等と連携し、読書グループ関係団体への支援協力を行った。また、千葉県読書グループ連絡会に協力して、千葉県読書グループ研修会の開催を支援した。さらに、読書会用テキストとして、同一タイトル10冊をセットにした十冊文庫を10タイトルを新規整備し、3タイトルを買い替えた（総タイトル数735）。

ウ 図書館員のページ活用促進

市町村立図書館向けや学校図書館向け、類縁関係機関向けに分類して、事業のPRや連絡等を行った。また、市町村立図書館等からも購入リクエストや所蔵調査等のほかに、事業や休館のお知らせ等で「図書館員のページ」が活用された。

エ 資料の巡回展示〈東部〉

東部図書館で実施した資料展示の資料を中心に、希望するテーマの資料を一括して市町村立図書館、公民館図書室、学校図書館等に貸出し、資料展示をしてもらう巡回展示を、11施設に21回実施した。

2 図書館職員の研修センター

(1) 県立図書館職員の資質向上

県立図書館職員の資質向上を目的に館内研修を計画的に実施するとともに、国立教育政策研究所主催の図書館司書専門講座を始めとした外部研修会等への職員派遣を積極的に行った。

(2) 市町村立図書館等職員の資質向上

市町村立図書館等職員の資質向上を図るため各種の研修会を実施し、市町村立図書館等への援助機能の充実に努めた(延べ 19回開催、678人参加)。各研修時のアンケート結果を分析し、課題を集約した。また、運営支援の一環として、全ての県内図書館等読書施設の職員が図書館サービス向上のための研修を受けられるよう、千葉県公共図書館協会と連携した研修プログラムの開発に積極的に取り組んでいる。

一部の研修ではオンライン等による遠隔開催や動画の後日配信を実施した。

【3館共催】

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
公共図書館新任職員研修会	5月12日(金)	公共図書館の役割と利用サービス、公共図書館における障害者サービス、県内図書館の概要と図書館ネットワーク、公共図書館のレファレンスサービス、公共図書館の児童サービス 講師 当館職員 会場 県教育会館 西部図書館 東部図書館 ※オンラインによる同時開催・後日配信あり	95人 (本会場15人、西部会場16人、東部会場9人、オンライン26人、動画視聴29人)

【中央図書館】

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
公共図書館中堅職員研修会	12月1日(金)	図書館のサービス計画策定の手引き 講師 元新宿区立中央図書館副館長 萬谷ひとみ氏 会場 オンライン及びサテライト会場	16人
図書館長研究協議会	11月30日(木)	「図書館のDX～非来館サービスと読書バリアフリー」 講師 都留文科大学教授 日向良和氏 新千葉県立図書館等複合施設整備事業について 報告者 生涯学習課職員 ※オンラインによる同時配信・後日配信あり	65人
児童サービス基礎研修会 全5回	6月15日(木)	第1回 児童奉仕概論 講師 佐倉市立佐倉図書館 小廣早苗氏 会場 県立中央図書館及びオンライン開催	44人
	6月27日(火)	第2回 絵本・物語について 講師 浦安市立中央図書館 相馬幸代氏 会場 千葉県教育会館	43人
	7月11日(火)	第3回 おはなし会の運営について 講師 当館職員 ノンフィクションの選書について 講師 松戸市立図書館 村上さつき氏	42人

	9月15日(金) 午前 午後	会場 千葉県教育会館 第4回 レファレンスサービスについて 講師 当館職員 会場 県立中央博物館及びオンライン開催 第5回 乳幼児サービスについて 講師 千葉大学・日本女子大学他非常勤講師、社会福祉法人芳雄会図書顧問・司書 伊藤明美氏 会場 県立中央博物館及びオンライン開催	45人 71人
地域行政資料研修会	10月20日(金)	地域行政資料の探し方入門 解説 菜の花ライブラリー 演習1 事前課題の解説 演習2 ひとり一問一答 講師 当館職員	13人
レファレンス研修会 (レファレンスサービス基礎研修)	6月16日(金)	レファレンスサービス実践の基礎 インターネットを活用した調べ方 レファレンス演習／参考図書及びインターネット情報源解題 講師 当館職員	43人
レファレンス研修会 (レファレンスサービス専門研修)	12月15日(金)	行政支援サービスのさらなる展開を！ 講師 千葉経済大学短期大学部 齊藤誠一氏 事例発表 情報提供サービスについて 報告者 当館職員	26人
課題解決支援サービス研修会	11月17日(金)	創業・経営支援に必要な情報源 講師 中小企業診断士 小櫃博氏	13人

【西部図書館】

事業名	実施日等	実 施 状 況	参加人数
障害者サービス研修会 全2回	7月4日(火) 7月21日(金)	第1回 障害者サービスを始めるための基礎の基礎 公共図書館の障害者サービスの理念・各サービスの紹介と具体的実施方法 障害者サービス用資料について・サピエ図書館体験 講師 当館職員 ※オンライン同時開催 第2回 千葉県読書バリアフリー推進計画について 講師 千葉県教育庁教育振興部 生涯学習課社会教育振興室 新県立図書館建設準備班 副主査 廣瀬恭子氏 「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する計画」の策定指針について 講師 埼玉県立久喜図書館 司書主幹 佐藤聖一氏 ※オンライン同時開催	23人 (会場4人 オンライン19人) 31人 (会場3人 オンライン28人)
課題解決支援サービス研修会	9月1日(金) 11月29日(水)	第1回 ICT技術の進展と図書館サービスへの活用 講師 白百合女子大学基礎教育センター 准教授 今井福司氏 ※オンライン同時開催 第2回 日本語と英語で調べる アジア諸国の情報 講師 国立国会図書館 関西館 司書 野間俊希氏 ※オンライン同時開催	38人 (会場11人 オンライン27人) 18人 (会場2人 オンライン16人)

【東部図書館】

事業名	実施日等	実 施 状 況	参加人数
課題解決支援サービス 研修会	11月14日(火)	超高齢社会における図書館サービス 講師 筑波大学副学長・附属学校教育局教 育長 呑海沙織氏 ※オンライン同時開催	31人 (会場6人 オンライン25人)
千葉経済大学短期大学 部と千葉県立東部図書 館との連携研修会	11月30日(木)	図書館現場における著作権について考える 講師 千葉経済大学短期大学部 教授 叶多泰彦氏	12人
学校図書館運営研修会	7月26日(水)	ブックフィルム(ブッカー)のかけ方 講師 当館職員	10人

【新型コロナウイルス感染症の影響】

「研修受講者数」

令和2年度から4年度は感染症対策のため会場参加人数を制限して実施したが、オンライン配信やサテライト会場の設置、分散開催、動画提供などの手段も取り入れ、研修への参加に配慮した。

平成30年度 (コロナ禍以前)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
710人	598人	490人	653人	744人	678人

第2 子どもの読書活動の推進

1 子どもの読書活動の推進拠点

(1) 子どもの読書活動推進センター機能の充実

読み聞かせボランティアステップアップ講座をいすみ市と酒々井町で開催した。また、「千葉県子ども読書の集い」、「学校図書館・公立図書館連携研修会」に参加するなど、関係機関・団体等との連携推進を図り、子どもの読書活動推進センター機能の充実に努めた。

(2) 来館者サービス

資料の貸出し、子どもからの調査相談、読書相談及び児童資料・子どもの読書活動に関する大人からの調査相談のほか、定例おはなし会や冬のおはなし会等を開催した。また、「子育て支援情報コーナー」の資料や情報の充実を図った。また、生涯学習課や子育て支援課と連携し、子育てに関するパンフレット等の収集、提供を進めた。〈中央〉

(3) 市町村立図書館等への支援

市町村立図書館等への資料の貸出しや調査相談、運営相談を行った。

「児童サービス基礎研修会」を開催し、市町村立図書館等の児童サービス担当職員の養成に努めた。〈中央〉

県立東部図書館内に開館の旭市図書館で行われる「おはなし会」の運営に協力した。〈東部〉

(4) 読み聞かせボランティアの養成

「読み聞かせボランティアステップアップ講座」を開催するとともに、学校図書館が実施する子どもの本の読み聞かせボランティアを養成する講座等に講師として職員を派遣した。〈中央〉

(5) 出張おはなし会

博物館等で開催するイベント等に協力し、職員が出向いて、おはなし会や読み聞かせを行った。〈中央・西部〉

(6) ヤング・アダルトサービス

県内YA担当者の実態とニーズを把握するためアンケートを行い、合計259の関係機関から回答を得た。また、回答結果を各関係機関に公表した。そのほか、X（旧Twitter）で中高生向けのおすすめ本を紹介した。〈中央〉

(7) 障害者用資料の製作

児童資料の点訳絵本等を製作した。〈中央〉

(8) 子どものための多文化サービス

日本語を母語としない子どもの読書活動支援のため、外国語によるおはなし会「世界とふれあうおはなし会」（中国語・ダリ語・タガログ語・タイ語）を実施した。〈中央〉

(9) 広報・啓発

『子どもの読書活動推進センター通信～子どもの読書をめぐる人々をつなぐ架け橋～』の発行、「千葉県子ども読書の集い」への出展、「学校図書館・公立図書館連携研修会」での広報・事業説明を行った。〈中央〉

子ども読書の日記念展示を行った。〈中央・東部〉

2 学校図書館への支援

(1) 高等学校・特別支援学校向け貸出用資料の整備

高等学校・特別支援学校向け「学校用貸出セット」について、新規・改訂12セット、270冊を整備した。（総セット数137セット、総冊数3,977冊）

県立図書館の学校支援事業を周知し、活用を促すために、学校図書館関係者や教職員の研修会等で事業説明や資料配付を行った。

(2) 資料の貸出し・運営相談等

県内の高等学校・特別支援学校等と連携し、資料提供や協力レファレンス、研修等を行った。

資料搬送方法：協力車〈西部・東部〉、宅配便〈中央・西部（協力車未巡回校）〉

また、高等学校を対象に運営相談を行った。（特別支援学校については（3）に別掲）

・東部図書館（奉仕対象地域内の高校22校に延べ24回の訪問運営相談を実施）

【中央図書館】

ア 宅配便による資料搬送 登録校80校

奉仕対象地域内の利用未登録や、近年利用のない高校・特別支援学校へ広報活動を行った。

学校用貸出セットのうち、要望の多いセットや改訂が必要なセットについて、学校側のニーズを知るため、アンケートを実施した。

イ 高等学校への講師派遣

保育等への進路を希望する生徒や図書委員会活動への支援のため、高等学校等へ絵本の読み聞かせについての講師として職員を派遣した。

（延べ8校 派遣先：柏井高、佐倉南高、下総高、市原八幡高、犢橋高、松戸六実高、千葉商業高、生浜高）

ウ 小・中学校図書館との連携・支援

小・中学校図書館には市町村立図書館等を通して資料貸出しを行った。学習でも使える「千葉県の民話リスト」「千葉県にゆかりのある人物リスト」について、広く活用してもらえるよう、運営相談等で広報を行った。また、新たに20項目からなる「千葉県の伝統的な産業」

についてのリストと小学校国語科の領域別資料リストを作成した。

【西部図書館】

ア 協力車巡回による資料搬送 登録校40校

イ 宅配（ゆうパック）による資料搬送（管内協力車未巡回校対象）登録校31校

ウ 奉仕対象地域内の利用未登録や宅配登録の高校・特別支援学校へ、文書による事業説明、勧誘を行った。

エ 高等学校図書館相互協力担当者会を実施し、相互協力業務の確認や情報交換を行った。

【東部図書館】

ア 協力車巡回による資料搬送 登録校21校のうち巡回校15校

イ 小・中学校図書館との連携・支援

海匝地区指導行政連絡会議（2回開催）に出席し、県立図書館の学校支援について説明した。

ウ 学校図書館運営研修会を実施し、学校図書館担当者の資質向上を図るとともに担当者同士の情報交換を実施した。

（3）特別支援学校への読書支援

希望のあった学校に対し、おはなし会や運営相談等を行った。

- ・中央図書館（奉仕対象地域内の12校に読み聞かせ等を実施）
- ・西部図書館（奉仕対象地域内の9校に読み聞かせ等、2校に運営相談を実施）
- ・東部図書館（奉仕対象地域内の5校に読み聞かせ等、6校に運営相談を実施）

（4）ホームページでの学校向け情報発信

「学校の先生方へ」のページについて、学校用貸出セット一覧の更新、高等学校向け調べ方案内の更新、「千葉県の伝統的な産業」についてのリスト及び小学校国語科の領域別資料リストの掲載を行った。

（5）探究学習についての利用支援方法の検討

探究学習に役立つ内容の情報発信を充実させるため、高等学校向け調べ方案内の更新を行った。

【新型コロナウイルス感染症の影響】

「学校セットの貸出数」

修学旅行や文化祭等の県立学校行事が見送りとなったことで学校における調査学習で使う媒体としての書籍の利用が減少していたが、令和5年度の学校セットの貸出数は230セットと増加した。

平成30年度 (コロナ禍以前)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
302件	214件	191件	206件	221件	230件

第3 課題解決支援図書館機能の充実

1 調査研究に役立つ資料の収集と情報の提供

(1) 県立全館の資料整備

県民の調査研究活動を支援し、市町村立図書館等及び高等学校等への協力・援助を行うため、3館が連携・分担して収集、整備した。

なお、電子書籍については、電子出版制作・流通協議会の発表などを参考としながら、動向調査を進めた。

資料整備実績

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計
購入図書資料	5,031 冊	3,938 冊	2,581 冊	11,550 冊
寄贈図書資料	3,181 冊	601 冊	128 冊	3,910 冊
千葉県関係資料	2,294 冊	310 冊	126 冊	2,730 冊
逐次刊行物（購入）	152 タイトル	277 タイトル	183 タイトル	612 タイトル

(2) 資料の保管

収集資料を継続的・効率的に維持保存・利用するために、蔵書点検（2月13日～2月22日）を行った。

(3) 市町村立図書館等除籍資料の保存

県内の最終的な保存図書館として、市町村立図書館等の除籍資料を収集した。

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計
図 書	59 冊	0 冊	10 冊	69 冊
雑 誌	25 冊	300 冊	0 冊	325 冊

(4) 電算業務

ア 業務系システム

県立図書館の電算システムは、昭和59年度から開発した独自システムを西部図書館開館時（昭和62年）に導入したのが最初である。平成8年度には同システムの改良版を中央図書館に、また、平成10年度に開館した東部図書館にも導入することにより、3館独自の電算システム運用体制が整備された。その後、平成19年から3館のシステムを統合した「千葉県立図書館統合電算システム」に移行し、中央図書館が管理・運用を行うこととした。平成24年11月、電算システムを一新（契約：NECキャピタルソリューション株式会社、開発：日本電気株式会社）し、さらに機能を充実させた「千葉県立図書館情報システム」を導入し、令和5年3月に3期目の更新を行った。

《電算システムの概要》

館 名	現行システム（令和5年3月更新）					電算システムの 導入時期
	機 器 名		基本ソフト名	端末機器(台)※3		
				業務用	利用者用	
中 央	日 本 電 気 (株)	Express 5800 ※1	LiCS-WebⅡ	44	20	平成8年
西 部				32	24	昭和62年
東 部				26	19	平成8年 ※2

※1 本体は外部に設置 ※2 東部図書館は開館準備時から導入 ※3 他に研修用21台、予備5台

イ インターネット系システム

平成13年から導入した図書館ホームページでは、所蔵資料の検索・予約、県内図書館横断検索（55機関、71コンテンツ）、メールレファレンスの受付などのほか、図書館からの様々な情報発信を行っている。（ホームページへのアクセス件数 481,645件）

《横断検索参加自治体及び施設一覧》

（令和6年3月末現在）

自治体 (35市6町1村)	[中央エリア] 千葉市、市原市、習志野市、八千代市、佐倉市、成田市、四街道市、八街市、富里市、茂原市、勝浦市、館山市、鴨川市、南房総市、木更津市、君津市、袖ヶ浦市、酒々井町、大多喜町、長生村、睦沢町、栄町
	[西部エリア] 市川市、船橋市、浦安市、松戸市、柏市、野田市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、印西市、白井市
	[東部エリア] 銚子市、香取市、匝瑳市、旭市、東金市、山武市、大網白里市、横芝光町、多古町
大学（4）	千葉大学附属図書館、千葉科学大学図書館、城西国際大学水田記念図書館、放送大学附属図書館
専門（2）	アジア経済研究所図書館、財団法人成田山仏教図書館
県類縁施設（3）	千葉県文書館、千葉県総合教育センター、千葉県立博物館
その他（4）	国立国会図書館、国立情報学研究所、科学技術振興機構、日本出版インフラセンター

ウ その他システム

平成24年度から3館で公衆無線LANサービスを導入している。

2 調査研究や政策形成の支援

（1）調査相談業務（レファレンスサービス）

ア 調査回答

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等の所蔵資料、インターネット情報源、データベース等を活用し、口頭や電話、メール、文書等による個人や市町村立図書館等からの調査相談に対し的確に回答した。

イ パスファインダー（調べ方案内）、図書館から世界（ニュース）が見える等の作成

県民ニーズを把握し、県民が関心を持つテーマに関する調べ方を紹介するパスファインダーを作成した（新規2件、改訂7件）。

また、時事問題等に関する情報提供サービスとして、「図書館から世界（ニュース）が見える」を12号発行した。

中央図書館では、「古代の地球・生き物」「昔話を読もう」など児童書関連の展示リスト4件、教科書単元・テーマ別資料リスト3件、「千葉県の伝統的な産業」のリスト1件を作成した。

西部図書館では、「千葉県 夏の高校野球」「よみがえるチバニアン期の古生物」「認知症に寄り添う」「伝えたい千葉の産業技術100選」などの展示リストを作成した。

東部図書館では、「高村光太郎生誕140周年」「関東大震災」「防災の学び」など時宜に合った展示を定期的に行うとともに、ブックリストを作成、提供した。

〈調べ方案内(パスファインダー) 令和5年度作成・改訂一覧〉

テ ー マ	作 成 館
いじめ(改訂)	中 央 図 書 館
薬物依存について調べる(改訂)	〃
裁判員制度について調べる(改訂)	〃
宇宙・天文について調べる(改訂)	〃
沖縄について調べる(改訂)	〃
明治・大正・昭和の世相を調べる	〃
千葉県の土地(地歴と価格)について	〃
終活について調べる(改訂)	東 部 図 書 館
戦国武将について調べる(改訂)	〃

〈図書館から世界(ニュース)が見える 令和5年度作成一覧〉

テ ー マ	作 成 館
カスタマーハラスメント	中 央 図 書 館
化石・古生物	〃
子どもの読書活動推進計画	〃
記録に見る関東大震災	〃
生成AI	〃
物流の2024年問題	〃
子ども食堂	〃
農泊	西 部 図 書 館
大人の発達障害(神経発達症群)	〃
地域防災力の向上	〃
ふるさと納税	東 部 図 書 館
鳥インフルエンザ	〃

ウ レファレンス事例の公開

調査回答事例の中から、公開用事例として44件を国立国会図書館レファレンス協同データベースに提供し、県民がホームページで閲覧できるよう登録した。

エ 国立国会図書館の提供する「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の利用

「図書館向けデジタル化資料送信サービス」が調査研究に活用されるよう県民への広報を行うとともに、資料の提供、複写サービスを行った。

オ データベースの利用促進

データベースの利用を促進するため、利用者向けのデータベース活用講座を開催した。

カ 研修会の開催

市町村立図書館等職員を対象に、課題解決支援サービス研修会やレファレンス研修会を開催した。

キ 課題解決支援の取組と講座の開催

中央図書館では、「くらしに役立つ法律・判例情報コーナー」の法律・判例関係資料の充実、関連情報の提供に努めた。また、県民向けの課題解決支援講座「くらしに役立つ法律・判例情報講座」(2回)や「データベース活用講座」(2回)を開催した。

西部図書館では、健康・医療情報サービス振り返りプロジェクトの分析結果を基に、資料の選定、関連パンフレットの提供、健康・医療情報コーナーの整備等を行った。

東部図書館では、シニアの暮らしに役立つ資料の充実、関連情報の提供に努めた。また、県民向けの課題解決支援講座「はつらっライフ講座」(1回)を開催するとともに、新たにシニアの健康と読書推進を図るため、音読教室(3回)を開催した。

〈課題解決支援講座（県民対象）〉

事業名	実施日等	実 施 状 況	参加人数
【中央図書館】 暮らしに役立つ法律・ 判例情報講座	8月27日(日)	働く人が知っておきたいハラスメント～近ごろ話題のカスタマーハラスメントを中心に 講師 法テラス千葉法律事務所 弁護士 金澤万里子氏 会場 袖ヶ浦市立中央図書館	11人
	11月1日(水)	法情報データベースD1-Law.comを使った法律・判例情報の探し方 講師 第一法規株式会社 久保直也氏	13人
【中央図書館】 データベース活用講座	6月17日(土)	菜の花ライブラリー活用講座 講師 当館職員 ※オンライン同時開催	11人 (会場5人 オンライン6人)
	7月28日(金)	朝日新聞記事データベース「朝日新聞クロスサーチ」の効果的な検索法 講師 朝日新聞社 メディア事業本部 IP事業部 データベース営業チーム 吉田 海将氏 ※オンライン同時開催	9人 (会場4人 オンライン5人)
【東部図書館】 はつらっ音読教室	6月30日(金)	はつらっ音読教室	16人
	10月26日(木)	講師 当館職員	12人
	1月31日(水)		14人
【東部図書館】 はつらっライフ講座	9月15日(金)	終活セミナー 悔いのない人生のしめくくり～相続・遺言・終活の基礎知識 講師 千葉県金融広報委員会 金融広報アドバイザー 近藤喜隆氏	20人

(2) 閲覧業務

ア 資料の館内利用・貸出し

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等所蔵資料や、県内外の他の公共図書館及び国立国会図書館、大学図書館等からの相互貸借により、資料の提供や貸出し、複写サービスを行った。

イ 図書館への来館が困難な利用者に対する情報提供

自宅への図書の直接貸出を希望する県民（資料貸出券の発行を受けている方）に対して、郵送（送料自己負担）による図書（一部の資料を除く）の貸出し、返却サービスを行った。
(利用：39件137冊)

また、来館しにくい県民や災害等により一時的に図書館を利用しにくくなる県民への対応として、郵送による資料貸出券交付申込みを実施した。(利用：16件)

令和5年度から、館内閲覧資料の取り寄せや郵送複写をインターネットから行えるよう申込みフォームを設置した（利用：フォームからの館内閲覧資料取り寄せ申込み163件275冊、フォームからの郵送複写申込み44件）。

ウ 資料の展示

所蔵資料の特長を活かしたテーマを設定し、県民に広く周知するために、各館展示コーナー等を利用し、定期的に資料を展示した。

〈資料展示（展示コーナー等による資料の紹介）〉

【中央図書館】

展示場所	展 示 名	期 間
千葉県資料室	～千葉県誕生150周年～歴代知事の著作・伝記	5月20日（土）～7月20日（木）
新聞雑誌室	チバニアンと千葉県の地層・化石	7月22日（土）～8月30日（水）

	関東大震災から100年	9月1日（金）～11月16日（木）
	写真から見る千葉県の明治・大正・昭和	11月18日（土）～2月12日（月）
	千葉県立図書館100周年記念	2月23日（金）～5月16日（木）
カウンター前	認知症をテーマにした絵本と児童文学	9月13日（水）～9月30日（土）
	人権週間（巡回展示）	12月5日（火）～12月24日（日）
児童資料室	おいしい千葉をめしあがれ	5月20日（土）～8月17日（木）
	古代の地球・生き物	8月18日（金）～10月26日（木）
	昔話を讀もう	10月27日（金）～3月14日（木）
	国際アンデルセン賞受賞者の作品	3月16日（土）～6月20日（木）

※児童資料室にて「食べ物が出てくる本」「図書館や本が出てくる本」等のミニ展示を通年で17回実施。

【西部図書館】

展示場所	展 示 名	期 間
カウンター前	世界の建築家	4月16日（日）～6月23日（金）
	特別支援学校おはなし会で読んだ本	4月22日（土）～8月13日（日）
	楽しく学ぶ食育	6月6日（火）～7月13日（木）
	よみがえるチバニアン期の古生物	8月15日（火）～11月30日（木）
	人権週間（巡回展示）	12月5日（火）～12月24日（日）
	食の安全と法律	1月5日（金）～3月31日（日）

※カウンター前にて「千葉県 夏の高校野球」「認知症に寄り添う」等のミニ展示を通年で5回実施。

【東部図書館】

展示場所	展 示 名	期 間
展示コーナー	高村光太郎 生誕140周年	4月22日（土）～6月30日（金）
	関東大震災	7月1日（土）～9月3日（日）
	千葉県誕生150周年	9月5日（火）～11月23日（木）
	東総地域のお祭り	11月24日（金）～2月12日（月）
	防災の学び 東日本大震災から13年	2月23日（金）～4月18日（木）
資料紹介コーナー	詩と童謡	4月22日（土）～6月30日（金）
	司馬遼太郎生誕100年	7月1日（土）～8月31日（木）
	江戸川乱歩デビュー100周年	9月1日（金）～10月19日（木）
	本で世界を旅しよう	10月21日（土）～12月14日（木）
	人権週間（巡回展示）	12月12日（火）～12月24日（土）
	源氏物語	12月16日（土）～2月12日（月）
	多言語作家の本	2月23日（金）～4月18日（木）

※カウンター前にて「レトロ絵葉書」「銚子電鉄開業100年」等のミニ展示を、また、「はつらつライフなび（シニア支援コーナー）」では、「そばで長生き」「元気な高齢者の小説」等のミニ展示を、併せて通年で26回実施。

（3）各種講座の開催

各種講座を実施し、県民の学習機会の拡充に努めた。

【中央図書館】

県民の読書活動の推進や課題解決を支援するため各種事業を実施した。

事業名	実施日等	実 施 状 況	参加人数
定例おはなし会	毎週土曜日	全49回 語り手 当館職員	延べ146人
親子で楽しむえほんの会	第2・4土曜日	全13回 語り手 当館職員	延べ41人

冬のおはなし会	12月17日(日)	語り手 当館職員	25人
世界とふれあうおはなし会	2月11日(日)	語り手 県立生浜高等学校生徒、当館職員	延べ30人
読み聞かせボランティアステップアップ講座	5月28日(日) 9月30日(土)	絵本の読み聞かせ-選び方と読み方の実践- 講師 にんじん文庫主宰 入交静氏 会場 プリミエール酒々井 絵本の読み聞かせ-選び方と読み方の実践- 講師 ゆか下文庫主宰 小谷孝子氏 会場 いすみ市大原文化センター	25人 35人
読書バリアフリー講座	8月16日(水)	学校図書室の読書バリアフリー 初めの一歩 講師 専修大学文学部・大学院法学研究科教授 野口 武悟氏 事例発表 都立鹿本学園における読書バリアフリーの取り組み 講師 東京都立鹿本学園 司書教諭 生井恭子氏	41人 (会場3人、オンライン23人、アーカイブ配信15人)
サピエ図書館活用講座	12月19日(火)	タブレット端末を使用した視覚障害者情報ネットワーク「サピエ図書館」の活用方法とその実践 講師 株式会社ラビット代表 荒川明宏氏	12人
図書館音訳者養成講座	1月18日(木)	(第1回) 遠隔対面朗読サービスの概要 講師 当館職員 遠隔対面朗読の留意点 講師 西部図書館音訳者 湯本佳子氏 (第2回) ZOOMの利用方法 講師 株式会社19 安藤将大氏	延べ41人 (会場33人(中央12人、西部7人、東部14人)、オンライン8人)

【西部図書館】

県民生活上の課題解決を支援するため、各種事業を実施するとともに、当館の特色（自然科学・工学）を生かした「サイエンス・カフェ」を開催した。

障害者サービスについては、「ICT活用講座」や船橋市西図書館を会場にした「読書バリアフリー出前講座」等を開催し、読書相談など幅広い情報提供に努めた。また、中央図書館開催の「図書館音訳者養成講座」ではサテライト会場となった。

事業名	実施日等	実施状況	人数
ICT活用講座	9月26日(火)	国立国会図書館障害者用資料検索「みなサーチ」β版及びデジタル化資料の全文テキストデータの活用方法について 講師 国立国会図書館関西館 図書館協力課 課長補佐 本田麻衣子氏 電子図書館のアクセシビリティ対応ガイドライン紹介 講師 国立国会図書館 総務部企画課 課長補佐 奥田倫子氏 ※オンライン同時開催	30人 (会場7人、オンライン23人)
サイエンス・カフェ	11月12日(日)	よみがえるチバニアン期の古生物 講師 千葉県立中央博物館 丸山啓志氏	28人
図書館音訳者養成講座	2月9日(金) 2月10日(土)	DAISY図書製作用ソフトウェアを使った編集の方法 講師 DAISY TOKYO 森田聡子氏ほか講習スタッフ4名	延べ14人

読書バリアフリー出前講座	2月1日(木)	障害者の情報支援機器の最新動向 講師 株式会社ラビット代表取締役 荒川明宏氏 千葉県立西部図書館における読書支援機器を 活用したサービスについて 当館職員 スマートフォン・タブレット・パソコンによる 読書(サピエ図書館を体験しよう) 講師及び当館職員 会場 船橋市西図書館 ※オンライン同時開催	32人 (会場15人、オンライン17人)
--------------	---------	---	-------------------------

【東部図書館】

県民の読書活動推進のため「歴史講座」、「文学講座」を開催した。

障害者サービスについては、「読書バリアフリー講座」を開催するとともに、中央図書館開催の「図書館音訳者養成講座」のサテライト会場となった。

事業名	実施日等	実 施 状 況	参加人数
文学講座	6月24日(土)	高村光太郎・智恵子と房総 講師 高村光太郎連翹忌運営委員会代表 小山弘明氏	30人
歴史講座	10月5日(木)	徳川家康の関東入国と房総～豊臣期における 房総の態様～ 講師 千葉県文書館職員 柴裕之氏	28人
読書バリアフリー講座	11月15日(水)	誰もが読める!社会を目指して 講師 筑波大学付属視覚特別支援学校 教諭 宇野和博氏 ※オンラインによる同時開催、後日配信あり	24人 (会場1人、 オンライン13人、 動画視聴10人)

(4) 県庁各課等への情報提供

県民生活の維持向上等に係る施策を企画・立案している県庁各課等へ、業務で必要な資料の貸出しや調べものの支援として情報提供サービスを行った。(貸出冊数: 2,977冊)

また、県出先機関への郵送サービスを行った。(貸出冊数: 1,278冊)

【新型コロナウイルス感染症の影響】

「郵送による図書の貸出し、返却サービス利用数」

平成30年度 (コロナ禍以前)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
14件38冊	15件34冊	133件354冊	34件78冊	43件192冊	39件137冊

「定例おはなし会の参加数」

平成30年度 (コロナ禍以前)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
全44回 延べ186人	全34回 延べ105人	全9回 延べ23人	全15回 延べ54人	全46回 延べ182人	全49回 延べ146人

※おはなし会の中止期間: 令和2年2月～10月、令和3年1月～10月

「県民向け講座参加者数」

平成30年度 (コロナ禍以前)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
860人	648人	333人	299人	409人	446人

第4 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

1 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存

(1) 資料の計画的な収集

千葉県関係資料の網羅的・系統的な収集に努めるとともに、文書館などと連携し、官公庁などへ寄贈依頼を定期的に行った。また、出版情報を新聞記事等により把握し、幅広く収集するとともに、インターネット情報を含む地域行政資料の収集・保存に努めた。

・千葉県資料受入数 購入411冊 寄贈2,319冊 合計2,730冊

(2) 県内における大規模災害関連資料及び防災関連資料・情報の収集

県民の課題解決支援の一環として、東日本大震災や房総半島台風等、県内に甚大な被害をもたらした災害に関する資料や、ハザードマップ等の防災に関連する資料・情報を適宜収集、整理、保存するとともに、資料の提供や図書館ホームページによる情報提供に取り組んだ。

(3) 資料の利用促進

千葉県に関するパスファインダー（調べ方案内）、千葉県資料のテーマ別資料リスト、千葉県ゆかりの文学を紹介した「房総文学カード」等を作成・公開した。また県内公共図書館等職員を対象に、地域行政資料に関する知識を深め、日常のレファレンス業務や資料の保存・提供の充実を図るための研修会を実施した。

2 千葉県関係資料の情報発信の推進

(1) 千葉県関係の情報検索ツールの充実

国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供、千葉県関係の新聞・雑誌記事索引、歴史関係雑誌記事索引、千葉県に関するパスファインダー（調べ方案内）、千葉県資料のテーマ別資料リスト等の情報検索ツールの作成等を行い、レファレンスサービスの充実に努めた。

・千葉県関係として国立国会図書館レファレンス協同データベース24件、パスファインダー1件、テーマ別リスト38件、「図書館から世界（ニュース）が見える」2件を追加した。

(2) 貴重資料保存のためのデジタル化

『千葉県歴史編輯材料』や『千葉文化』など明治時代以降の資料をデジタル化し、菜の花ライブラリーで公開してインターネットを通じて閲覧できるようにした。

(3) 菜の花ライブラリー活用講座の実施

県民が千葉県についての情報を効率的に幅広く入手し、千葉県への理解を深めるために、ホームページで公開している千葉県関係データベース「菜の花ライブラリー」の利用方法を学ぶ機会として菜の花ライブラリー活用講座を実施した。また、東部図書館では、すごろく風のワークシート形式で菜の花ライブラリーの利用方法を学ぶイベントを行った。

第5 知の創造と循環を生み出す公共の場

1 県民が利用しやすいサービス

(1) 図書館利用が困難な人々へのサービスの充実

「千葉県読書バリアフリー推進計画」（千葉県教育委員会 令和5年3月）に基づき、読書バリアフリー相談窓口（読めない・読みにくい方のための相談窓口）を設置し、障害者サービスに関するリーフレットを作成・配布した。障害や年齢のために図書館利用が困難な方が資料の提供を受けられるように、各種サービスや研修会を実施し、市町村立図書館等への普及を図った。また、先進事例を調査・研究し、サービスの推進を図るため、中央図書館児童資料室内に点訳絵本やさわる絵本、LLブックなどのバリアフリー資料を集めた「りんごの棚」を設置し、手に取りやすい形での資料提供を行っている。

ア 読書バリアフリー講座の開催

活字による読書の困難な方とその支援者や市町村立図書館職員、特別支援学校教職員等を対象に、拡大読書器や活字を読み上げる機器、デジタル録音図書の再生機器の説明会並びにICTを活用した読書の最新動向の紹介等を行った。船橋市西図書館の協力を得て読書バリアフリー出前講座を開催した。

イ 録音図書・点訳絵本の貸出し・製作

希望する録音図書を所蔵資料だけでなく、全国の点字図書館や公共図書館より借り受け提供した。また、所蔵していない場合は、自館で製作し貸出しを行った。

- ・録音図書の貸出タイトル数：9,875タイトル
- ・点訳絵本を2タイトル、録音図書を12タイトル製作した。

ウ 対面朗読

図書館音訳者が図書館の蔵書や持込みの資料などを朗読する対面朗読については、研修室・会議室等の広い部屋を使用する等の感染症対策を講じながら実施した。

中央・西部図書館では遠隔対面朗読を実施し、利用の拡大を図った。

エ 活字資料のテキストデータ化

西部図書館では、利用者へ迅速に情報提供できるよう、希望する活字資料をテキストデータ化してパソコン等で音声化するサービスを行った。また、各館の館報のテキストデータ版を各館で製作・提供した（新規21タイトル製作、うち14タイトルを国立国会図書館へ提供）。

オ 録音図書等のデータ提供

「視覚障害者情報総合ネットワーク（サピエ）」に所蔵する録音図書等の目録情報を、「国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービス」に製作した録音図書等のデータを提供し、利用者がインターネットで利用できる環境を整備した。

- ・提供したデータの利用数：5,462件

カ 図書館音訳者の養成

録音図書の製作や対面朗読を行う図書館音訳者を委嘱するとともに、音訳者の資質向上のための講座を開催した。サテライト会場を設け参加しやすくするなどして、受講機会を増加させた。

キ 障害者サービス研修会の開催〈西部〉

市町村立図書館等職員の公共図書館における障害者サービスの向上や、特別支援学校教職員への障害者サービスの啓発を目的に、障害者サービス研修会を開催した。

ク サピエ図書館活用講座の開催〈中央〉

インターネットを活用して、録音図書・点字図書オンラインデータベースを体験する講座を開催した。

ケ 関係機関との連携協力

視覚障害者総合支援センターちば主催「視覚障害者等サービス研修会」（千葉県教育委員会後援）の開催について、会場提供及び運営協力を行った。〈西部〉

コ 高齢者サービスの推進〈東部〉

高齢者サービスの課題を整理し、「はつらっライフ講座」「はつらっ音読教室」等を開催するとともに、「はつらっライフなび（シニア支援コーナー）」の充実を図った。

2 機能の重なりから生まれるもの

（1）博物館・文書館などとの連携

博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等と連携して、展示、講座、文献リストの作成等を実施した。

また、文書館、中央博物館、さわやかちば県民プラザ、図書館の担当者による意見交換会を開催し、情報共有を進めた。

【中央図書館】

- ・法テラス千葉法律事務所との連携（「くらしに役立つ法律・判例情報講座」〈11人〉）
- ・中央博物館との連携（特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」関連おはなし会「古生物の絵本読み聞かせ」〈39人〉／巡回展「関東大震災から100年―災害の記憶を未来に伝える―」／秋の展示「手のひらのメディア―吉澤貞一マッチラベルコレクション―」関連イベントシンポジウム「いま、コレクションについて考える～人はなぜ集めるのか？～」〈22人〉
- ・関連パスファインダーの作成・資料の展示
- ・房総のむらとの連携（親子で楽しむ昔話〈延べ163人〉）
- ・生浜高等学校との連携（世界とふれあうおはなし会〈延べ30人〉）
- ・千葉県学校図書館協議会、千葉県教育研究会学校図書館教育部会及び千葉県高等学校教育研究会学校図書館部会との連携（「第34回読書感想画中央コンクール」千葉県入賞作品の展示会）

【西部図書館】

- ・健康福祉部高齢者福祉課との連携（「認知症」理解普及月間に合わせた資料展示）
- ・中央博物館との連携（サイエンス・カフェ〈28人〉）
- ・農林水産部安全農業推進課、同流通販売課、千葉県観光物産協会との連携（ちばの食育月間に合わせた資料展示）
- ・現代産業科学館との連携（パネル・資料展示「伝えたい千葉の産業技術100選」）
- ・中央博物館との連携（千葉県誕生150周年記念事業「写真で見るちばのあゆみ」パネル巡回展／巡回展「関東大震災から100年―災害の記憶を未来に伝える―」）

【東部図書館】

- ・金融広報委員会との連携（「はつらっライフ講座」〈20人〉）
- ・健康福祉部高齢者福祉課との連携（「認知症」理解普及月間に合わせた資料展示）
- ・農林水産部安全農業推進課、同流通販売課、千葉県観光物産協会との連携（ちばの食育月間に合わせた資料展示）
- ・千葉県文書館との連携（歴史講座〈28人〉）
- ・中央博物館等との連携（千葉県誕生150周年記念事業「写真で見るちばのあゆみ」パネル巡回展／房総文学カードへの画像提供等）
- ・県立銚子高等学校との連携（「防災の学び」生徒の研究成果と関連資料を展示）

（2）積極的な広報・啓発の推進

県立図書館の機能・役割を県民に広く周知するため、要覧、各館館報（千葉県立中央図書館報『千葉文化』、千葉県立西部図書館だより『West Library』、千葉県立東部図書館だより『知識は旅をする』）、『子どもの読書活動推進センター通信～子どもの読書をめぐる人々をつなぐ架け橋～』を発行した。

より県民に親しみやすく、時宜を得た情報を発信するため、県立図書館ホームページを随時更新し、X（旧ツイッター）も活用して所蔵資料や事業内容を紹介した。（ポスト数 452件）

高校生・大学生のインターンシップを受け入れ図書館業務の理解促進を図った。〈西部・東部〉

ア 100周年記念事業の実施

- ・館内展示「図書館の思い出・100年の歩み」

館内にメッセージカードを備え付け、来館者の「図書館の思い出」を募集し、開館からの主な出来事を紹介した「100年のあゆみ」とともに館内に展示した。

- ・ラッピング協力車による県内市町村巡回

100周年のPOPを貼付した協力車（県内の図書館や学校を繋ぐ図書運搬車）で県内全ての市町村を巡回した。

- ・館報『千葉文化』（255号）を100周年記念号として発行。

- ・100周年記念ブックマーカ―配布

100周年を記念したブックマーカ―を来館者に配布した。

（中央2500枚・西部1500枚・東部1500枚）

- ・中央図書館バックヤードツアーの実施

子供向け 令和6年3月3日（日）一部：21人（保護者25人） 二部：15人（保護者13人）

大人向け 令和6年3月9日（土）一部：15人 二部：13人

- ・「千葉県立図書館百周年記念動画 館内案内」を作成しYouTubeにて公開

イ 視察受入・講師・メディア掲載実績

- ・視察（見学）受入・対応実績

日時	団 体	参加人数	対応館
9月24日	松戸史談会	20人	西部
11月14日	千葉市立本町小学校	5人	中央

- ・職員が外部で講師を務めた実績

日時	実施状況	主催	講師
9月9日	読書バリアフリーとは？ ～視覚に障害がある人の読書～ 「目が見えない人の暮らしを知ろう。読書方法から盲導犬によるサポートまで」	新宿区立戸山図書館	西部図書館職員
1月27日	読書バリアフリーに向けた図書館サービス研修「視覚障害者用「読書支援機器」を活用した読書環境の現状について」	公益財団法人 文字・活字文化推進機構	西部図書館職員

- ・メディア掲載（出版）実績

記事名	掲載誌	執筆者
「千葉県立西部図書館における博物館等との連携事業について」	日本農学図書館協議会誌212号2023. 12	西部図書館職員
「千葉県読書バリアフリー推進計画 千葉県立図書館の取組み」	らいぶらりあん65号2024. 3	中央図書館職員

【新型コロナウイルス感染症の影響】

「連携事業実施回数」

博物館などとの連携事業のうち、各種講座やおはなし会については、令和2年度から4年度にかけて、定員の減員、書面開催やオンライン開催への変更、中止があった。また、令和2年度には、文書館、さわやかちば県民プラザ、中央博物館担当者との意見交換会を中止した。

平成30年度 (コロナ禍以前)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
18回	25回	13回	16回	18回	24回

「対面朗読サービスの利用時間」

令和2年3月から5月までの臨時休館及び同年6月末までの間、来館による対面朗読を中止した。また、令和3年度からオンラインによる対面朗読を実施することで利用機会を保障した。

平成30年度 (コロナ禍以前)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
195 (-) 時間	187 (-) 時間	51 (8) 時間	59 (11) 時間	110 (42) 時間	163 (36) 時間

※ () はうち、オンラインによる対面朗読の時間

第6 県立図書館の事業点検及び再編準備

1 点検・評価

「千葉県立図書館行動計画」の進捗状況を図書館協議会に報告し、意見をいただくとともに、ホームページに公表して図書館サービスの向上や改善に努めた。

2 利用者アンケートの実施

図書館利用の満足度等利用状況を把握し、図書館運営の参考とするため、秋の読書週間に利用者アンケートを実施した。

3 県立図書館の再編準備

平成30年度から1館集約に向けた物流や研修、資料収集等といった課題の整理及び検討、計画、準備を進めている。

県立図書館事業に関する基本的な方針・施策について定める「千葉県立図書館サービス計画（仮称）」の検討を開始するとともに、下記の取り組みを行った。

- ・1館集約後の物流体制について、運営相談での聴取等を通じて得た市町村立図書館等の意見も踏まえ、検討を進めた。
- ・県内最後の1冊保存体制の検討について、国内の先行事例等を分析し、市町村図書館等への意見聴取を行った。
- ・重複して所蔵している図書について、狭隘化の著しい中央図書館から優先して除籍作業を行った。
- ・非来館型サービスの推進のため、WEBフォームによる館内閲覧資料の取り寄せ申込み、ちば電子申請サービスによるイベント等の参加申込みや郵送複写の申込み等を開始した。

4 東部図書館における旭市図書館の一部使用

東部図書館の旭市への移譲までの間、施設の一部を旭市図書館として使用することに伴い、令和3年7月10日に開館した旭市図書館と東部図書館の利用者サービスが円滑に行えるように努めた。

千葉県立図書館行動計画（令和 3～5 年度）の評価

1 総括（自己評価）

（1）取組状況の評価

行動計画の取り組みを評価する指標として設定した 11 項目の評価指標のうち、目標を達成した項目は 7 項目（表 1 のとおり）である。

目標未達となった項目の主な要因については、電子書籍・インターネットなど読書・調査媒体の多様化や、新型コロナウイルス感染防止対策による影響が大きいと考えている。特に、「市町村立図書館等への貸出冊数」と「県立学校等への貸出冊数」は、年々減少しているため、対策の検討が必要であると考えている。

表 1

役割・機能	重点項目	評価指標	評 価
図書館ネットワークの発展	市町村立図書館等への支援の強化	市町村立図書館等への貸出冊数	目標未達
		市町村立図書館等の運営相談件数	目標達成
図書館職員の資質向上	図書館職員研修センター機能の強化	研修受講者の満足度	目標未達
子どもの読書活動の推進	地域の子どもの読書環境整備の推進	地域の子どもの読書活動の推進に資する刊行物	目標達成
	学校図書館への支援の強化	県立学校等への貸出冊数	目標未達
		学校貸出セットの新規整備・改訂数	目標達成
課題解決支援図書館	課題解決支援、調査研究機能の強化	パスファインダー及び「図書館から世界（ニュース）が見える」発行件数	目標達成
千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	千葉県に関する情報発信件数	目標未達
知の創造と循環を生み出す公共の場	博物館など関係機関との連携の推進	連携事業の実施回数	目標達成
	図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	障害者サービス・多文化サービス関連のコンテンツの作成数	目標達成
	情報発信機能の強化	X（旧ツイッター）の発信件数	目標達成

（2）計画期間における新たな取組

I C T 環境の進展や新たな法律の制定などと連動して、新たなサービスの提供（表 2 のとおり）に取り組んだ。

特に、障害者サービスについては、「千葉県読書バリアフリー推進計画」の策定を受けて、相談窓口を開設するなど読書バリアフリーを推進した。

表 2

項 目	新たな取組
図書館職員の研修	オンライン配信や動画配信
子どもの読書活動の推進	子どもの読書活動推進センター通信の創刊
多文化サービス	世界とふれあうおはなし会の実施
利用者サービス	郵送による複写サービスのオンライン申込みフォームの開設 館内閲覧資料の取り寄せフォームの開設
障害者サービス	読書バリアフリー相談窓口の開設 読書バリアフリー出前講座の開始 遠隔対面朗読の本格実施

(3) 新館における図書館サービスの準備

新館における図書館サービスの提供に向けて、ＩＣタグの貼付業務や、新図書館システムの仕様原案作成などに取り組んだ。

表 3

項 目	取組状況
図書館資料ＩＣタグ貼付	令和6年3月から貼付作業を開始（令和8年度まで作業予定）
新図書館システムの検討	情報提供依頼（ＲＦＩ）を実施（令和5年8月～10月）

2 課題及び今後の取組について

令和3年度から5年度までの実施状況等を踏まえた上で、図書館サービスの課題の解決に向けて取り組んでいく。特に、以下の重点項目の取組については、引き続き、検討・推進を図っていくべき課題があると考えている。

表 4

重点項目	今後の取組
市町村立図書館等への支援の強化	・ニーズを踏まえた蔵書構築、相談事業の推進に努める。 ・新館移転後の物流体制、最後の1冊保存体制について、市町村立図書館等の考え方などを確認・整理し、方向性等の検討を進める。
図書館職員研修センター機能の強化	・アーカイブ化も含め、受講者のニーズに応じた内容や方法において研修ができるように努める。
地域の子どもの読書環境整備の推進	・子どもの読書活動推進計画（第5次）策定を見据えて、市町村立図書館等との連携を図り、サービスの推進に努める。
学校図書館への支援の強化	・県立学校への電子書籍の導入の在り方を検討する。 ・よりニーズに応じた資料の貸出しや支援に努める。
千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	・千葉県関係情報のデジタルアーカイブ化に取り組む。 ・マイクロフィルムや原紙の劣化が進んでいる千葉県関係新聞のデジタル化に着手する。
図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	・非来館型サービスと読書バリアフリーの推進を図るため、電子書籍の導入及び利用拡大のための広報を進める。 ・資料の劣化状況や利用者ニーズを踏まえて、資料のデジタル化を計画的に推進する。 ・「千葉県読書バリアフリー推進計画」等を踏まえ、障害者サービスの充実やサービスの周知に努める。 ・高齢者向けサービスとして、令和5年度に開始した「はつらつ音読教室」のノウハウを蓄積し、県内への普及を図る。
情報発信機能の強化	・県立図書館として目指すブランディングの方向性を共有する。 ・図書館ホームページ、X（旧ツイッター）により、時宜を得た情報発信を行う。

【図書館協議会としての総評】

「図書館ネットワークの発展」「図書館職員の資質向上」「子どもの読書活動の推進」「千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承」については、目標未達となった指標がある。引き続き、目標達成に努力するとともに、次期行動計画では、市町村立図書館や県立学校等のニーズなどを十分検証した上で、より効果的な指標の設定を検討されたい。

「千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承」については、まず収集を充実させ情報発信していくことが重要である。資料の充実度を評価すべきで、収集に係る指標を検討されたい。

新しい図書館の計画には、県民誰もが「行きたい」と思えるアピールが必要である。次期行動計画から、新館での図書館サービスを意識して取り組んでもらいたい。

新館においては、時代の要請に応じて、バーチャルな機能で千葉県全域からアクセスできる場をつくりあげる方向に行かなくてはならない。「建物はひとつだけれど千葉県民全員が利用できる。」というプランを期待している。

千葉県立図書館行動計画(令和3～5年度)の実施状況及び自己評価一覧

※元号表記凡例 H:平成 R:令和

※目標値に対する達成状況凡例 ○:達成 ×:未達成

役割・機能	重点項目	取組	計画期間における主な取組(実施状況)	評価指標	目標値	実績値			目標値に対する達成状況	達成状況等についての説明・評価
						R3	R4	R5		
1	図書館ネットワークの発展	(1) 市町村立図書館等への支援の強化	【市町村立図書館等への貸出し、相談事業等の推進】 ・市町村立図書館等を通じた貸出しについて広報を進める。 ・毎年全市町村を訪問し、図書館の運営等についての調査相談を行うとともに、電話やメール等を通じた相談を随時行う。	市町村貸出図書数等への	75,000	72,022	69,949	65,264	×	【評価】 ・減少傾向、計画期間に目標値を達成できず 【要因】 ・新型コロナウイルス感染症、大規模改修による県内図書館の休館・閉館 ・電子書籍やインターネットなど読書・調査媒体の多様化 【対応】 ・市町村図書館等窓口での案内用チラシやX(旧Twitter)で広報
			【新館における物流体制の検討】 ・現状の課題等について市町村立図書館等に運営相談等を通じて聴取するとともに、全県でアンケートを実施し、新館整備に向けて検討を進める。	市町村営立相図書館数等への	120	188	230	192	○	【評価】 ・目標値を超えて達成 【要因】 ・全54市町村の訪問運営相談を年1回実施 ・電話・メール等相談での、職員の丁寧な対応による相談数の増加
			【県内最後の1冊保存体制の検討】 ・先行する図書館や団体等に個別調査を行う。 ・課題等について市町村立図書館等と情報交換を進め、県内の保存体制のモデル案を検討する。 ・市町村立図書館等が最後の1冊を確認できるよう今後の電算システムに盛り込む機能を検討する。							
2	図書館職員の資質向上	(1) 図書館職員研修センター機能の強化	【経験別、分野別研修の実施】 ・研修結果を分析し、研修プログラムの充実を図る。	研修受講者の満足度	94.5%	90.0%	93.0%	89.2%	×	【評価】 ・計画期間に目標値を達成できず 【要因】 ・内容は概ね好評だが、オンライン回線の不具合や会場設営・運営などの評価が低い回があった 【対応】 ・研修ニーズの把握 ・開催方法や会場設営の検討
			【研修機会の拡充】 ・開催方法を検討し、遠隔開催や地域別開催を実施する。							
			【研修内容のアーカイブ化】 ・国内の事例等について調査し、課題等の洗い出しを行う。							

役割・機能	重点項目	取組	計画期間における主な取組(実施状況)	評価指標	目標値	実績値			目標値に対する達成状況	達成状況等についての説明・評価	
						R3	R4	R5			
3	子どもの読書活動の推進	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進	・【児童資料の研究支援の推進】 ・児童文学研究や子どもの読書に関する活動に役立つ資料を揃え、子どもと児童文化に関する情報を蓄積するとともに、調査研究活動を支援するツールを提供する。 ・【子育て支援情報サービスの推進】 ・子育てに資する図書等を収集するとともに、県関係機関と連携しながら子育て支援情報の発信を進める。 ・【児童書の網羅的収集の検討】 ・市町村立図書館等が児童書を購入する際の参考となるような収集方法について、国内の先行事例等を参考に方法を検討する。 ・【新しいサービスの研究開発】 ・図書館利用の困難な子どもや保護者について、実態把握に努め、利用支援方法を検討する。 ・ヤングアダルト(ティーンズ)サービスの全県でのサービス充実を目指す方策を検討する。 ・地域の子どもの読書活動の推進に資する刊行物を発行する。	・児童文学研究や子どもの読書に関する活動に役立つ資料を揃え、子どもと児童文化に関する情報を蓄積するとともに、調査研究活動を支援するツールを提供する。 ・子育てに資する図書等を収集するとともに、県関係機関と連携しながら子育て支援情報の発信を進める。 ・市町村立図書館等が児童書を購入する際の参考となるような収集方法について、国内の先行事例等を参考に方法を検討する。 ・図書館利用の困難な子どもや保護者について、実態把握に努め、利用支援方法を検討する。 ・ヤングアダルト(ティーンズ)サービスの全県でのサービス充実を目指す方策を検討する。 ・地域の子どもの読書活動の推進に資する刊行物を発行する。	地域の子どもの読書活動推進に資する刊行物	2	1	2	2	○	【評価】 ・目標値どおり達成 ・R3「子どもの読書活動推進センター通信」創刊(年1回発行) ・R4～ 年2回発行
		(2) 学校図書館への支援の強化	・【県立学校等への貸出し、相談事業等の充実】 ・県立学校等の相互貸借について実態調査を進め、ニーズを把握するとともに、未登録校への広報活動を実施する。 ・【学校貸出セットの充実】 ・貸出セットについて、内容の検討及び整備を推進する。 ・要望の多い貸出セットを調査、把握し必要性の高いものの重複購入を進める。 ・【生徒向け読み聞かせ講座、図書館活用講座等の実施】 ・生徒向け読み聞かせ講座、図書館活用講座等を実施する。 ・【市町村立図書館等と小中学校との連携への支援】 ・市町村立図書館等と小中学校との連携状況を調査する。 ・小中学校支援モデル事業として貸出セットの作成を検討する。 ・図書館未設置市町村等が小中学校との連携を推進できるよう、資料の支援を行う。	・県立学校等の相互貸借について実態調査を進め、ニーズを把握するとともに、未登録校への広報活動を実施する。 ・貸出セットについて、内容の検討及び整備を推進する。 ・要望の多い貸出セットを調査、把握し必要性の高いものの重複購入を進める。 ・生徒向け読み聞かせ講座、図書館活用講座等を実施する。 ・市町村立図書館等と小中学校との連携状況を調査する。 ・小中学校支援モデル事業として貸出セットの作成を検討する。 ・図書館未設置市町村等が小中学校との連携を推進できるよう、資料の支援を行う。	県立学校等への貸出冊数	31,000	19,968	18,724	17,635	×	【評価】 ・減少傾向、計画期間に目標値を達成できず 【要因】 ・学校においてタブレット端末等使用環境が整備されたことによる調べ学習のインターネット活用の増加 【対応】 ・継続した周知・広報。 ・学校のニーズに応じた「学校用貸出セット」の整備 ・学校向け電子書籍の導入の検討

役割・機能	重点項目	取組	計画期間における主な取組(実施状況)	評価指標	目標値	実績値			目標値に対する達成状況	達成状況等についての説明・評価
						R3	R4	R5		
3	子どもの読書活動の推進	学校図書館への支援の強化	【特別支援学校への読書支援の充実】 ・学校訪問等でニーズと支援方法を探り、読書支援を継続、推進する。 【探究学習支援への対応】 ・教科書単元・テーマ別資料リストについて、順次内容の追加・改訂を進めるとともに、市町村立図書館等を通じて周知を図る。 ・図書館を使った授業等についての情報発信を進める。 ・探究学習についての利用支援方法を検討する。	学校貸出セットの新規整備・改訂数	10	11	10	12	○	【評価】 ・目標値どおり達成 ・学校のニーズに応じた「学校用貸出セット」を整備
4	課題解決支援図書館	課題解決支援、調査研究機能の強化	【課題解決支援サービスの充実】 ・法律情報支援サービス、医療情報支援サービス、シニア支援情報サービス等を推進する。 ・行政課題等の解決に資する資料を収集、提供する。 【レファレンス事例の一般公開】 ・国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供を進める。 【県民向け講座の実施】 ・図書館活用講座、データベース活用講座等を実施する。 【時事問題等に関する情報提供サービスの実施】 ・時事問題や地域の課題等に関する資料の紹介、ブックリストやリンク集等の作成、提供を行う。 【電子書籍の導入の検討】 ・電子書籍について費用も含めた導入の検討を進める。 【新館整備に向けた資料管理の検討】 ・引き続き重複図書、雑誌の除籍を進める。 ・各館で別々に所蔵している雑誌の書誌統合を進める。 ・電子書籍の収集等、新館を見越した資料の収集、整理方法について検討を進める。	パスファインダー及び「図書館から世界（ニュース）」が見える」発行件数	15	16	17	18	○	【評価】 ・R3・R4・R5 目標値を超えて達成 ・R5 達成の見込み ・県民向け講座等の関連テーマでパスファインダーを作成・配布するなど効果的な情報発信に努めた

役割・機能	重点項目	取組	計画期間における主な取組(実施状況)	評価指標	目標値	実績値			目標値に対する達成状況	達成状況等についての説明・評価
						R3	R4	R5		
5	千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	(1) 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	【千葉県関係資料の網羅的収集】 ・官公庁や関係部署へ情報収集をし、寄贈資料の収集に努める。また、インターネットでの提供に移行した資料についても、漏れのないように収集する。 ・インターネットや新聞記事等で出版情報を幅広く集め受入に繋げる。 【千葉県関係の情報検索ツールの充実】 ・国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供や新聞雑誌記事索引、人名索引、デジタルアーカイブ、パスファインダー、テーマ別リスト、目次情報など、千葉県関係の情報に到達しやすい環境を整備する。 【千葉県資料のデジタル化】 ・地図や郷土誌、県が編集発行した行政資料など計画的にデジタル化を進める。 【インターネット上の地域行政資料の動向等調査】 ・ポーンデジタル資料の収集やオープンデータの活用など、国内の動向について調査を行う。	(「レファレンス事例」から千葉県に関する情報を発信している「件数」等作成別リスト)	40	39	44	70	×	【評価】 ・R3 目標値を達成できず ・R4・R5 目標値を超えて達成 【要因】 ・R3 新型コロナウイルス感染症の影響による展示中止に伴う資料リストの作成減などで減少 ・R4～ 千葉県内デジタルアーカイブリンク集や菜の花ライブラリーの紹介動画などの情報提供による増加
		(1) 博物館など関係機関との連携の推進	【関係機関と連携した事業の実施】 ・博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等と連携して、展示、講座等を実施する。 ・関係機関が実施する講座等へ、職員を講師として派遣する。 【関係機関との連絡調整会議の実施】 ・博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等関係機関との情報共有を進める。	連携事業の実施回数	15	16	18	24	○	【評価】 ・目標値を超えて達成 ・多様な関連機関と講師派遣や招聘を行い専門性を活かした事業を開催 ・R5 千葉県誕生150周年、関東大震災100年などの記念事業との連携により増加
		(2) 図書館利用が困難な人々へのサービス提供の充実	【障害者用コンテンツの充実】 ・点訳絵本、録音図書、テキストデータ等の作成を進める。 ・サビエ図書館や国立国会図書館等と連携し、所蔵資料の書誌登録や作成データの提供を推進する。 【障害者サービスの普及】 ・県内図書館向け研修や県民向け講座等を充実する。 ・遠隔対面朗読等インターネット等を活用したサービスや県内図書館等との連携を強化する。 【新しいサービスの研究開発】 ・多言語・多文化社会や発達障害者への対応など新しいサービスの研究開発を進める。	障害者関連のコンテンツの作成数	25	28	38	35	○	【評価】 ・目標値を超えて達成
		(3) 機能の強化	【積極的な広報・PRの推進】 ・ホームページやツイッターによる発信に努めるとともに、ブランディングについて研究を進める。	の発信(旧ツイッター)	360	528	452	395	○	【評価】 ・目標値を超えて達成
6	知の創造と循環を生み出す公共の場	(1) 博物館など関係機関との連携の推進	【関係機関と連携した事業の実施】 ・博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等と連携して、展示、講座等を実施する。 ・関係機関が実施する講座等へ、職員を講師として派遣する。 【関係機関との連絡調整会議の実施】 ・博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等関係機関との情報共有を進める。	連携事業の実施回数	15	16	18	24	○	【評価】 ・目標値を超えて達成 ・多様な関連機関と講師派遣や招聘を行い専門性を活かした事業を開催 ・R5 千葉県誕生150周年、関東大震災100年などの記念事業との連携により増加
		(2) 図書館利用が困難な人々へのサービス提供の充実	【障害者用コンテンツの充実】 ・点訳絵本、録音図書、テキストデータ等の作成を進める。 ・サビエ図書館や国立国会図書館等と連携し、所蔵資料の書誌登録や作成データの提供を推進する。 【障害者サービスの普及】 ・県内図書館向け研修や県民向け講座等を充実する。 ・遠隔対面朗読等インターネット等を活用したサービスや県内図書館等との連携を強化する。 【新しいサービスの研究開発】 ・多言語・多文化社会や発達障害者への対応など新しいサービスの研究開発を進める。	障害者関連のコンテンツの作成数	25	28	38	35	○	【評価】 ・目標値を超えて達成
		(3) 機能の強化	【積極的な広報・PRの推進】 ・ホームページやツイッターによる発信に努めるとともに、ブランディングについて研究を進める。	の発信(旧ツイッター)	360	528	452	395	○	【評価】 ・目標値を超えて達成
		(4) 機能の強化	【積極的な広報・PRの推進】 ・ホームページやツイッターによる発信に努めるとともに、ブランディングについて研究を進める。	の発信(旧ツイッター)	360	528	452	395	○	【評価】 ・目標値を超えて達成

令和 6 年度事業計画

【重点事業】

※ 〈 〉 以外は県立 3 館で実施

第 1 県内図書館の中核としての役割

- (1) 資料搬送ネットワークの維持・改善、図書館等運営相談 (課題の整理・検討)
- (2) 県立図書館職員の資質向上 (専門研修の受講)
- (3) 市町村立図書館等職員の資質向上 (研修内容の充実)

第 2 子どもの読書活動の推進

- (4) 子どもの読書活動推進センター機能の充実
(千葉県子どもの読書活動推進計画 (第四次) に基づく読書活動の推進)
- (5) 地域の子どもの読書環境整備の推進 (外国にルーツのある子どもや保護者等への支援〈中央〉)
(読み聞かせボランティアの養成〈中央〉)
- (6) 学校図書館への支援 (学校向け資料やホームページの充実〈中央〉)
(特別支援学校への訪問読書支援の実施)
(探究学習についての利用支援方法の検討)

第 3 課題解決支援図書館

- (7) 課題解決に必要な資料情報の蓄積及び支援サービスの実施・普及
(パスファインダーや時事問題等に関する資料 (情報) 案内の作成)
- (8) 県庁各課等への情報提供サービスの推進 (利用促進のための広報強化〈中央〉)

第 4 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

- (9) 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存
(地域行政資料 (インターネット情報を含む) の収集・保存の推進)
(千葉県関係情報のデジタルアーカイブ化)
- (10) 千葉県関係の情報発信の推進 (千葉県関係の情報検索ツールの充実)
(千葉県関係資料のデジタル化〈中央〉)

第 5 知の創造と循環を生み出す公共の場

- (11) 博物館、文書館等との連携 (講座、展示、資料貸出、文献リストの作成等の実施)
- (12) 非来館型サービスの充実 (電子書籍サービスの実施) 【新規】
(オンラインによる利用登録) 【新規】
- (13) 高齢者サービスの推進 (講座等の実施〈東部〉)
- (14) 障害者サービスの実施及び市町村立図書館等への普及
(市町村や学校の図書館等に係る会議・研修会での広報)
(学生向け音訳等体験講座の開催〈西部〉) 【新規】
- (15) 図書館の広報戦略の推進 (ソーシャルネットワーキングサービス SNS の活用等)

第 6 県立図書館の事業点検及び再編準備

- (16) 1 館集約に向けた課題の整理、検討、計画、準備 (IC タグの貼付作業委託)

【業務内容】

第1 県内図書館の中核としての役割

1 市町村立図書館等への支援

(1) 資料搬送ネットワークの維持・改善（図書館協力業務）

ア 資料の図書館間貸出し

市町村立図書館等の求めに応じて、資料の図書館間貸出しを行う。併せて、県民へのサービスの周知を行う。

イ 図書館連絡車・協力車巡回

業者委託により県立図書館3館の間で連絡車を巡回させ、県内の全ての市町村立図書館等に対し、週1回定期的に協力車を巡回し、県立図書館及び市町村立図書館等の相互貸借資料を搬送する。併せて、1館集約を見据えた資料搬送ネットワークの構築について検討を重ねる。

ウ 協力レファレンス

市町村立図書館等からの所蔵調査・資料調査・事項調査等の調査・相談等に対し、データベースや図書館資料を使って支援を行う。

エ 高等学校・特別支援学校・大学及び類縁機関等との連携

県内の高等学校・特別支援学校・大学及び類縁機関等と連携し、資料提供や協力レファレンス、研修等を行う。

資料搬送方法：協力車〈西部・東部〉、宅配便〈中央・西部（協力車未巡回校）〉

オ 図書館未設置市町村支援

図書館未設置市町村の公民館図書室など読書施設に対し、資料の貸出しや協力レファレンス、教科書単元・テーマ別資料リスト等活用の紹介〈中央〉、運営相談等の支援を行う。

カ 担当省会議の開催

市町村立図書館等の相互協力担当職員を対象に、相互協力の円滑な推進を図るための会議を開催する。

【資料搬送コース等】

《県立間連絡車巡回コース》

曜 日	図 書 館 名
火・木曜日	県立中央 → 県立東部 → 県立西部 → 県立中央 → 県立東部

《中央図書館協力車巡回コース》

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	木曜日	金曜日	火・金
巡回施設	館山市図書館 南房総市図書館 鴨川市立図書館 勝浦市立図書館 御宿町公民館 いすみ市夷隅公民館 大多喜町立大多喜図書館天賞文庫 睦沢町中央公民館 一宮町まちの図書室	鋸南町立中央公民館 富津市立図書館 君津市立中央図書館 木更津市立図書館 袖ヶ浦市立中央図書館 市原市立中央図書館 長柄町公民館 長南町中央公民館 長生村文化会館 白子町青少年センター 茂原市立図書館	ふれあいプラザさかえ 成田市立図書館 富里市立図書館 八街市立図書館 酒々井町立図書館 佐倉市立佐倉南図書館 千葉県教育振興財団 四街道市立図書館 八千代市立中央図書館 習志野市立中央図書館 県立保健医療大学 千葉大学附属図書館本館 〃 亥鼻分館	千葉市

〈中央図書館宅配・連携校〉

県立千葉高校	県立八千代西高校	県立長狭高校	東海大付属市原望洋高校
〃 千葉女子高校	〃 津田沼高校	〃 安房拓心高校	東邦大学付属東邦高校
〃 千葉東高校	〃 実籾高校	〃 安房高校	八千代松陰高校
〃 千葉商業高校	〃 成田西陵高校	〃 館山総合高校	成田高校
〃 千葉工業高校	〃 成田国際高校	〃 天羽高校	千葉敬愛高校
〃 千葉南高校	〃 成田北高校	〃 君津商業高校	千葉黎明高校
〃 検見川高校	〃 下総高校	〃 木更津高校	千葉大学附属特別支援学校
〃 千葉北高校	〃 富里高校	〃 木更津東高校	県立千葉聾学校
〃 若松高校	〃 佐倉高校	〃 君津高校	〃 桜が丘特別支援学校
〃 千城台高校	〃 佐倉東高校	〃 君津青葉高校	〃 袖ヶ浦特別支援学校
〃 生浜高校	〃 佐倉西高校	〃 袖ヶ浦高校	〃 千葉特別支援学校
〃 磯辺高校	〃 佐倉南高校	〃 市原高校	〃 八千代特別支援学校
〃 泉高校	〃 八街高校	〃 京葉高校	〃 習志野特別支援学校
〃 幕張総合高校	〃 四街道高校	〃 市原緑高校	〃 千葉盲学校
〃 柏井高校	〃 四街道北高校	〃 市原八幡高校	〃 富里特別支援学校
〃 千葉大宮高校	〃 長生高校	千葉市立稲毛高校	〃 栄特別支援学校
〃 土気高校	〃 茂原高校	習志野市立習志野高校	〃 長生特別支援学校
〃 千葉西高校	〃 茂原樟陽高校	千葉経済大学附属高校	〃 夷隅特別支援学校
〃 犢橋高校	〃 一宮商業高校	敬愛学園高等学校	千葉市立養護学校
〃 八千代高校	〃 大多喜高校	植草学園大学附属高校	
〃 八千代東高校	〃 大原高校	渋谷教育学園幕張高校	

《西部図書館協力車巡回コース》

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	金曜日	木曜日	金曜日
巡回施設	千葉大学附属図書館松戸分館 松戸市立図書館 県立流山南高校 流山市立中央図書館 県立流山はなはたかの森高校 野田市立興風図書館 野田看護専門学校 さわやかちば県民プラザ 県立東葛飾高校 柏市立図書館 我孫子市民図書館 県立我孫子高校 〃 沼南高校 〃 沼南高柳高校 〃 松戸六実高校 〃 柏陵高校 〃 松戸国際高校	県立我孫子東高校 印西市立大森図書館 白井市立図書館 県立白井高校 船橋市北図書館 鎌ヶ谷市立図書館 県立鎌ヶ谷高校 市川市中央図書館 浦安市立中央図書館 県立浦安南高校 〃 浦安高校 〃 行徳高校 〃 市川南高校 〃 市川工業高校	県立松戸高校 〃 松戸馬橋高校 〃 小金高校 〃 流山高校 流通経済大学付属柏高校 柏市立柏高校 県立柏高校 〃 柏中央高校 麗澤中学・高校 県立柏南高校 芝浦工業大学柏中学高校 県立船橋北高校 〃 船橋古和釜高校 〃 薬園台高校 〃 船橋芝山高校 〃 船橋啓明高校 〃 船橋法典高校 〃 市川東高校 昭和学院中学・高校 県立国府台高校 千葉商科大学附属高校 県立国分高校 〃 松戸向陽高校	松戸市

〈西部図書館宅配・連携校〉

県立船橋高校	県立流山北高校	東京学館船橋高校	県立榑波市川大野高等学園
〃 船橋東高校	〃 野田中央高校	市川高校	〃 松戸特別支援学校
〃 船橋二和高校	〃 清水高校	日出学園中学校・高校	〃 つくし特別支援学校
〃 船橋豊富高校	〃 関宿高校	東海大学付属浦安高校	〃 矢切特別支援学校
〃 市川昂高校	〃 印旛明誠高校	我孫子二階堂高校	〃 柏特別支援学校
〃 鎌ヶ谷西高校	船橋市立船橋高校	県立船橋特別支援学校	〃 湖北特別支援学校
〃 松戸南高校	松戸市立松戸高校	〃 船橋夏見特別支援学校	〃 印旛特別支援学校
〃 柏の葉高校	東葉高校	〃 市川特別支援学校	

〈東部図書館協力車巡回コース〉

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	県立東部 図書館内
曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
巡回施設	県立八日市場特別支援学校 敬愛大学八日市場高校 匝瑳市立八日市場図書館 県立匝瑳高校 横芝光町立図書館 県立松尾高校 芝山町中央公民館 多古町立図書館 県立多古高校 県立香取特別支援学校 神崎ふれあいプラザ 県立佐原白楊高校 香取市立佐原中央図書館 県立佐原高校	県立銚子特別支援学校 銚子市立銚子高校 県立銚子商業高校 〃 銚子高校 千葉科学大学 銚子市公正図書館 東庄町図書館 県立小見川高校 〃 東総工業高校 〃 旭農業高校	九十九里町中央公民館 県立九十九里高校 〃 大網白里特別支援学校 大網白里市図書室 東金市立東金図書館 県立東金高校 〃 東金商業高校 〃 東金特別支援学校 城西国際大学 県立成東高校 山武市さんぶの森図書館 県立飯高特別支援学校	旭市図書館

(2) 図書館運営相談

図書館の管理・運営やサービスに関する質問を市町村立図書館等から受け付けるほか、定期的に施設訪問し、図書館運営相談等に応じる。また、県内で大規模災害等が生じた際には市町村立図書館等の被害・休館状況等について情報共有を図る。

(3) その他

ア 新聞・雑誌総合目録の整備

市町村立図書館等や文書館行政資料室、県立保健医療大学図書館、さわやかちば県民プラザで所蔵する新聞や雑誌の総合目録を毎年更新してホームページ上で公開する。

イ 読書活動支援

県内の読書活動を推進するため、市町村立図書館等と連携し、読書グループ関係団体への支援協力を行う。また、読書会用テキストとして、同一タイトル10冊をセットにした十冊文庫の整備を進める。

ウ 図書館員のページ活用促進

市町村立図書館等や学校図書館、類縁機関との連携を強化するため、各館からの連絡や情報を掲載できる「図書館員のページ」の活用を促進する。

エ 資料の巡回展示〈東部〉

市町村立図書館等及び学校図書館と連携し、東部図書館で実施した資料展示や依頼館の要望に沿った図書を選び巡回展示を行う。

2 図書館職員の研修センター

(1) 県立図書館職員研修の充実

県立図書館職員の資質向上を目的に館内研修を計画的に実施するとともに、新たな専門研修の受講を含め外部研修会等への職員派遣を積極的に行う。

(2) 市町村立図書館等職員の資質向上

市町村立図書館等職員に必要とされる専門的な知識・技術についての各種研修会を開催し、全県的な図書館サービスの維持・向上を目指す。開催方法については、引き続き遠隔開催・後日視聴などの手法を取り入れていく。また、研修時のアンケート結果等を分析し、研修プログラム充実に必要な課題を整理・検討する。

【3 館共催】

*開催日等は予定

事業名	開催日	会場	参加予定数
公共図書館新任職員研修会	5月10日(金)	オンラインによる遠隔開催 各県立図書館	90人

【中央図書館】

*開催日等は予定

事業名	開催日	会場	参加予定数
公共図書館中堅職員研修会	10月	未定	40人
図書館長研究協議会	10月	オンラインによる遠隔開催	77人
児童サービス基礎研修会 第1回	6月13日(木)	オンラインによる遠隔開催	40人
第2回	6月26日(水)	未定	40人
第3回	7月4日(木)	未定	40人
第4回	9月13日(金)午前	オンラインによる遠隔開催	40人
第5回	〃 午後	〃	60人
地域行政資料研修会	11月15日(金)	中央図書館閲覧室	20人
レファレンス研修会 (レファレンスサービス基礎研修)	6月21日(金)	中央図書館閲覧室	40人
レファレンス研修会 (レファレンスサービス専門研修)	11月～1月	県内市町村図書館	20人
課題解決支援サービス研修会	10月～12月	県内市町村図書館	20人

【西部図書館】

*開催日等は予定

事業名	開催日	会場	参加予定数
障害者サービス研修会 第1回	5月24日(金)	西部図書館研修室	30人
第2回	6月11日(火)	西部図書館研修室 (オンライン同時配信)	30人
課題解決支援サービス研修会 第1回	9月	西部図書館研修室	20人
第2回	未定	西部図書館研修室 (オンライン同時配信)	30人

【東部図書館】

*開催日等は予定

事業名	開催日	会場	参加予定数
課題解決支援サービス研修会	10月～11月	東部図書館研修室 (オンライン同時配信)	30人
千葉経済大学短期大学部と千葉県立東部 図書館との連携研修会	未定	東部図書館管内の 読書施設	20人
学校図書館運営研修会	5月24日(金)	東部図書館研修室	15人

※公共図書館新任職員研修会については、オンライン遠隔研修併用で実施（令和4年度より3館合同で実施）。また、他の研修会についても状況により遠隔研修による実施とする場合がある。

第2 子どもの読書活動の推進

1 子どもの読書活動の推進拠点

(1) 子どもの読書活動推進センター機能の充実

千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）に基づき、教育委員会、図書館、関係機関・団体、関係者等の連携拠点（センター）として子どもの読書活動の推進を図る。

子どもの読書推進に関する施策・サービス等の調査・研究、普及・啓発、資料の収集と整備、担当者の研修及びネットワークの構築（連絡・調整、情報の共有、人や組織の連携等）を行い、センター機能の充実に努める。

(2) 来館者サービス

資料の貸出し、児童書研究のレファレンスのほか、定例おはなし会や親子で楽しむえほんの会、冬のおはなし会を開催する。また、子育て支援情報サービスの充実に努める。〈中央〉

(3) 市町村立図書館等への支援

市町村立図書館等への資料の貸出しや調査相談、ブックリストの提供、運営相談等を行う。「児童サービス基礎研修会」を開催し、市町村立図書館等の児童サービス担当職員の養成に努める。〈中央〉

(4) 読み聞かせボランティアの養成

「読み聞かせボランティア指導者養成講座」を開催するとともに、市町村立図書館等や学校図書館が実施する子どもの本の読み聞かせボランティアを養成する講座等に講師として職員を派遣する。〈中央〉

(5) 出張おはなし会

博物館等で開催するイベント等に協力し、職員が出向いて、おはなし会や読み聞かせを行う。〈中央〉

(6) ヤング・アダルトサービス

モデル事業の実施と研究を行う。県立図書館ホームページ内のヤング・アダルトサービスのページの充実、X（旧ツイッター）による発信に努める。〈中央〉

(7) 障害者用資料の製作

児童資料の点訳絵本等を製作する。〈中央〉

(8) 子どものための多文化サービス

日本語を母語としない子どもの読書活動を支援する。〈中央〉

外国語によるおはなし会を実施する。〈中央〉

外国語絵本及び子ども向け日本語・日本文化学習用図書を収集する。〈中央〉

(9) 広報・啓発

子どもの読書活動推進センターのホームページでの活動の広報〈中央〉

「千葉県子ども読書の集い」への出展〈中央〉

「学校図書館・公立図書館連携研修会」での広報・事業説明〈中央〉

子ども読書の日記念展示

2 学校図書館への支援

(1) 高等学校・特別支援学校向け貸出用資料の整備

学校用貸出セットを整備し、校長会、教員研修会等の場で広報するとともに、資料搬送・宅配未登録校へは説明資料を郵送する。学校のニーズを把握し、利用の促進を図っていく。

資料搬送方法：協力車〈西部・東部〉、宅配便〈中央・西部（協力車未巡回校）〉

（２）資料の貸出し・運営相談等

学校図書館への資料の貸出しや調査相談、運営相談を行う。

学校図書館に十冊文庫の貸出しを行い、学校での読書会活動を支援する。

生徒向けに高等学校で実施する読み聞かせ講座に講師として職員を派遣する。〈中央〉

高等学校を対象に、随時、希望により訪問運営相談を実施する。〈西部・東部〉

高等学校図書館相互協力担当者会を開催する。〈西部〉

学校図書館運営研修会を開催する。〈東部〉

（３）特別支援学校への読書支援

希望する学校に対し、おはなし会や運営相談等の読書支援を行う。

（４）ホームページでの学校向け情報発信

「学校の先生方へ」等ホームページにより、県内諸学校に向けた情報発信の充実を図る。

（５）探究学習についての利用支援方法の検討

探究学習についての利用支援方法を検討する。探究学習に役立つ資料の充実を図るとともに、ホームページに掲載している「探究学習に役立つリンク集」等で情報発信を行う。

第３ 課題解決支援図書館

１ 調査研究に役立つ資料の収集・蓄積と情報の提供

（１）県立全館の資料整備

ア 収集

「千葉県立図書館資料収集方針」等に基づき、県民の調査研究活動の支援及び市町村立図書館等への協力・支援に資する資料を収集するものとし、特に３館が一体となって県立図書館全体の蔵書構築ができるよう、以下の点に留意し収集に努める。

中央図書館では、総記、社会科学、言語等の資料を重点的に収集する。また、千葉県関係資料の網羅的・系統的な収集に努めるほか、官公庁をはじめ、関係機関や県内の諸団体の刊行物、個人の自費出版物等の収集・整備に努める。さらに、県内における子どもの読書活動推進のセンター館として、児童資料及び児童書研究資料の充実を図るほか、学校支援用の図書を整備する。西部図書館では、自然科学・技術分野に加えて哲学、芸術等の資料を重点的に収集する。東部図書館では、文学・歴史分野の資料を重点的に収集する。

資料整備計画

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計
購入図書資料	4,803 冊	3,927 冊	2,745 冊	11,475 冊
寄贈図書資料	3,000 冊	600 冊	200 冊	3,800 冊
逐次刊行物（購入）	151 タイトル	277 タイトル	190 タイトル	618 タイトル

また、遠隔地の県民や来館が困難な県民、高齢者や障害者の読書環境の向上を図るため、新たに開始する電子書籍サービスのコンテンツの充実を図る。（約5,000タイトル予定）

* 電子書籍サービス（紀伊國屋書店 学術電子図書館 K i n o D e n）

イ 整理

資料の発注から廃棄までの整理業務は電算システムを活用して行い、装備は、バーコードラ

ベル、背ラベル、不正持出し防止用の磁気テープ、フィルムコーティング等を施し、資料の保全を図る。

ウ 保管

収集資料を継続的・効率的に維持保存・利用するために、蔵書点検（2月12日～21日）を行う。また、書庫の狭隘化対策として、1館集約を見据え重複資料等の除籍を行う。

（2）電算業務

ア 業務系システム

令和5年4月より3期目に入った「千葉県立図書館情報システム」を維持管理し、次期電算システム導入に向けた機能充実・改善の検討を進める。

イ インターネット系システム

「千葉県立図書館ホームページ」については、更に利用しやすく利便性が高まるよう整備する。

ウ ICタグの貼付

「新千葉県立図書館・県文書館複合施設整備計画」において、新県立図書館ではICタグによる蔵書管理を行うとしていることから、中央図書館では令和5年度より所蔵資料へのICタグの貼付を開始した。令和6年度は西部図書館・東部図書館でも開始する。

2 調査研究や政策形成の支援

（1）調査相談業務（レファレンスサービス）

ア 調査回答

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等の所蔵資料、インターネット情報源、データベース等を活用し、口頭や電話、メール、文書等による個人や市町村立図書館等からの調査相談に対し的確に回答する。

イ パスファインダー（調べ案内）、「図書館から世界（ニュース）が見える」等の作成

県民ニーズを把握し、県民が関心を持つテーマに関する調べ方を紹介するパスファインダー（調べ案内）並びに時事問題や地域の課題等に関する資料（情報）を案内する「図書館から世界（ニュース）が見える」等を作成、提供する。

ウ レファレンス事例の公開

調査回答事例を国立国会図書館レファレンス協同データベースに提供し、県民がホームページで閲覧できるようにする。

エ 国立国会図書館の提供する「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の利用・普及啓発

「図書館向けデジタル化資料送信サービス」を利用した資料の提供、複写サービスを行い、調査研究を支援するほか、サービスの普及啓発に努める。

オ データベースの利用促進

データベースの利用を促進するため、積極的に広報を行う。

【データベース】

	データベース名	中央	西部	東部
総合	ジャパンナレッジLib	○	○	○
	国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス	○	○	○
	国立国会図書館 歴史的音源（配信提供館）	○	○	○

	サピエ（視覚障害者情報総合ネットワーク）	○	○	○
	ブリタニカ・アカデミック・ジャパン	○	○	○
新聞・雑誌の 記事・論文	日経テレコン21	○	○	○
	朝日新聞クロスサーチ	○	○	○
	毎索	○	○	○
	ヨミダス	○	○	○
	中日新聞・東京新聞記事データベース	○	—	—
	産経新聞データベース	○	○	○
	ELNET ELDB	○	○	○
	Web OYA-bunko	○	○	○
	ざっさくプラス	○	○	○
	JDream III	○	○	○
社会科学	D1-Law.com（現行法規・判例体系・法律判例文献情報）	○	○	○
	総合企業情報データベースeol	○	○	○
	官報情報検索サービス	○	○	○
	Whoplus	○	○	○
	市場情報評価ナビ MieNa	○	—	—
	TSR企業情報ファイルCD・eyes50	○	—	—
人文科学	日本文学Web図書館 和歌・連歌ライブラリー	○	○	○
	レファコレ<日外レファレンスコレクション> (世界文学)	○	○	○
	レファコレ<日外レファレンスコレクション> (児童文学・ヤングアダルト)	○	○	○
自然科学・ 技術・産業	医中誌Web	○	○	—
	最新看護索引Web	—	○	—
	ルール電子図書館	—	—	○

「ジャパンナレッジLib」は『国史大辞典』『日本歴史地名大系』『世界大百科事典』『新版角川日本地名大辞典』を含む

カ 研修会の開催

市町村立図書館等職員を対象に、課題解決支援サービス研修会やレファレンス研修会を開催する。

キ 課題解決支援の取組と講座の開催

中央図書館では、「くらしに役立つ法律・判例情報コーナー」の法律・判例関係資料の充実、関連情報の提供に努める。西部図書館では、「健康・医療情報コーナー」の資料の充実、関連情報の提供に努める。東部図書館では、シニアの暮らしに役立つ資料の充実、関連情報の提供に努める。

また、県民を対象とした講座を開催する。

【課題解決支援講座（県民対象）】

事業名	中央	西部	東部
くらしに役立つ判例情報講座	8月～11月		
はつらっライフ講座			8月24日（土）
はつらっ音読教室			6月～3月

（２）閲覧業務

ア 資料の館内利用・貸出し

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等所蔵資料や、県内外の他の公共図書館及び国立国会図書館、大学図書館等からの相互貸借により、資料の提供や貸出し、複写サービスを行う。

イ 図書館への来館が困難な利用者に対する情報提供

自宅への図書の直接貸出を希望する県民（資料貸出券の発行を受けている方）に対して、図書館に来館せずに郵送（送料自己負担）による図書（一部の資料を除く）の貸出し、返却サービスを行う。また、来館しにくい県民や災害等により一時的に図書館を利用しにくくなる県民への対応として、郵送による資料貸出券交付申込みを実施するほか、災害等の状況に応じて、個人貸出冊数や貸出期間の制限緩和を行う。さらに、手続きのオンライン化について検討を継続する。

ウ 資料の展示

所蔵資料の特長を活かしたテーマを設定し、定期的な資料展示を行う。

（３）各種講座の開催

各種講座を実施し、県民の学習機会の拡充に努める。また、Web会議システム等を活用し、オンラインでの講座開催に努めるとともに、会場から同時配信する環境を整備する。

【講座等実施予定】

事業名	中 央	西 部	東 部
定例おはなし会	毎週土曜日		
親子で楽しむえほんの会	毎月第２・４土曜日		
冬のおはなし会	12月		
世界とふれあうおはなし会	未定		
読み聞かせボランティア指導者養成講座	未定		
読書バリアフリー講座	7月～9月	1月～2月	10月～11月
サピエ図書館活用講座	12月		
読書サポーターのためのＩＣＴ活用講座		7月～8月	
図書館音訳者養成講座	12月～2月	10月～11月	
サイエンス・カフェ		10月	
文学講座			12月
歴史講座			10月

（４）県庁各課等への情報提供

県政の重要課題の把握に努め、課題に沿った資料の収集を行うとともに、県民生活の維持向上等に係る施策を企画・立案している県庁各課等へ、業務で必要な資料の貸出しや調べものの支援として情報提供サービスを行う。また、県出先機関への郵送サービスを行うほか、利用促進のための広報に取り組む。県議会図書室との連携を密にし、県民の代表である県議会議員の調査研究活動を支援する。

第４ 千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承

１ 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存

（１）地域行政資料（インターネット情報を含む）の収集・保存の推進

千葉県関係資料の網羅的・系統的な収集に努めるとともに、文書館などと連携し、官公庁などへの寄贈依頼を定期的に行う。また、出版情報を新聞記事等により把握し幅広く収集するとともに、インターネット情報を含む地域行政資料の収集・保存に努める。

また、千葉県関係新聞（県紙・千葉地方紙・全国紙千葉版）の原紙、マイクロフィルムについて、劣化の重篤なものを優先してデジタル化を進め、将来的な公開を目指す。

（２）千葉県関係情報のデジタルアーカイブ化

「新千葉県立図書館等複合施設基本計画」（令和元年８月 千葉県・千葉県教育委員会）に掲げている「誰もが千葉県の文化情報資源に容易にアクセスできる環境の整備」を目指し、紙媒体に限らず多様な形態で存在する千葉県関係情報を収集・保存し、広く利活用に供していけるよう、多様な形態の電子情報の収集・公開、千葉県関係情報のプラットフォーム機能等について検討を進める。

（３）県内における大規模災害関連資料及び防災関連資料・情報の収集

県民の課題解決支援の一環として、東日本大震災や房総半島台風等、県内に甚大な被害をもたらした災害に関する資料や、ハザードマップ等の防災に関連する資料・情報を適宜収集、整理、保存するとともに、資料の提供や図書館ホームページによる情報提供に取り組む。

（４）資料の利用促進

千葉県に関するパスファインダー（調べ方案内）、千葉県資料のテーマ別資料リスト等を作成・公開する。また市町村立図書館等職員を対象に、地域行政資料に関する知識を深め、日常のレファレンス業務や資料の保存・提供の充実を図るため、研修会を実施する。

２ 千葉県関係の情報発信の推進

（１）千葉県関係の情報検索ツールの充実

国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供、千葉県関係の新聞・雑誌記事索引、歴史関係雑誌記事索引、千葉県に関するパスファインダー（調べ方案内）、千葉県資料のテーマ別資料リスト等の情報検索ツールを作成し、レファレンスサービスの充実に努める。

（２）千葉県関係資料のデジタル化

千葉県関係資料のうち、著作権の保護期間が満了したものを中心に、デジタル化と千葉県デジタルアーカイブでの公開を進める。デジタル化資料選定にあたっては、資料の劣化状況や利用者ニーズ等を考慮する。

第５ 知の創造と循環を生み出す公共の場

１ 県民が利用しやすいサービス

（１）非来館型サービスの充実

ア 電子書籍サービスの実施

オンライン上で24時間利用可能な電子書籍サービスを提供し、コンテンツの充実と利用促進に努める。

イ オンラインによる利用登録

資料貸出券やパスワードの利用登録等の手続きについてオンライン申請を可能にする。

（２）図書館利用が困難な人々へのサービスの充実

障害や年齢のために図書館利用が困難な方が資料の提供を受けられるように、各種サービスや研修会を実施し、市町村立図書館等への普及を図る。また、令和５年３月に策定された千葉県読書バリアフリー推進計画に基づき、視覚障害者等向けサービスの利用案内・情報発信の強化に取り組む。

（参考）「千葉県読書バリアフリー推進計画」第４章 施策の方向性と取組

- １ 視覚障害者等による図書館の利用に係る体制の整備
- ２ インターネットを利用したサービスの提供体制の強化
- ３ 特定書籍・特定電子書籍等の製作の支援
- ４ 端末機器等及びこれに関する情報の入手支援、情報通信技術の習得支援
- ５ 製作人材・図書館サービス人材の育成等

ア 読書バリアフリー相談窓口の設置

ホームページに相談窓口を設置し、県民や市町村立図書館等からの相談に応じて、障害の種類・程度に応じた視覚障害者向けサービスをはじめとする障害者サービスを案内する。

イ 読書バリアフリー講座の開催

活字による読書の困難な県民の読書環境の整備の推進を目的として、アクセシブルな資料や読書支援機器を紹介するとともに、読書環境の整え方、読書を推進する取組等を周知するため、県民対象の講座を開催する。

さらに、市町村立図書館等での出前講座を実施する。〈西部〉

ウ 録音図書・点訳絵本の貸出し・製作

希望する録音図書を、所蔵資料だけでなく、全国の点字図書館や公共図書館より借り受けて提供する。また、所蔵していない場合は、自館で製作し貸出しを行う。

児童資料の点訳絵本を製作する。〈中央〉

エ 対面朗読

図書館音訳者が図書館の蔵書や持込みの資料などを朗読する。

さらに、オンラインによる遠隔対面朗読サービスを行う。

オ 活字資料のテキストデータ化〈西部〉

利用者へ迅速に情報提供できるよう、希望する活字資料をテキストデータ化してパソコン等で音声化するサービスを行う。併せて、作業に従事する図書館音訳者等向けにICT活用講座を開催する。

カ 録音図書等のデータ提供

「視覚障害者情報総合ネットワーク（サピエ）」（※）に所蔵する録音図書等の目録情報を、「国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービス」に製作した録音図書やテキストデータ等のデータを提供し、利用者がインターネットで利用できる環境を整備する。

※「視覚障害者情報総合ネットワーク（サピエ）」とは、視覚障害者を始め、目で文字を読むことが困難な方々に対して、さまざまな情報を点字、音声データで提供するネットワーク（当該ホームページから引用）

キ 図書館音訳者の養成

録音図書の製作や対面朗読を行う図書館音訳者を委嘱するとともに、図書館音訳者の技術向上に資するため、図書館音訳者養成講座を開催する。高校生・大学生等を対象とした体験講座も開催する。

ク 障害者サービス研修会の開催〈西部〉

市町村立図書館等職員の公共図書館における障害者サービスの向上や、特別支援学校教職員への障害者サービスの啓発を目的に、障害者サービス研修会を開催する。

ケ サピエ図書館活用講座の開催〈中央〉

インターネットを活用して、録音図書・点字図書オンラインデータベースを体験する講座を開催する。

コ 高齢者サービスの推進〈東部〉

高齢者サービスの課題の把握に努めながら、「はつらっライフ講座」、「はつらっ音読教室」等を開催するとともに、「はつらっライフなび（シニア支援コーナー）」の充実を図る。

サ 電子書籍サービスの提供

高齢者や障害者の読書環境の向上を図るため、文字の大きさを変えたり、読み上げ機能を使うことで、その人に合った読書ができるよう電子書籍サービスの提供を開始する。

シ 読書バリアフリー資料セットの貸出

多様な読書の方法を身近で体験する機会を提供するため、読書をサポートするさまざまな資料や機器をセットにして市町村立図書館・特別支援学校等の団体に貸出しを行う。

2 機能の重なりから生まれるもの

(1) 博物館、文書館などとの連携

博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等と連携して、展示、講座、資料貸出し、文献リストの作成等を実施する。

博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等が実施する講座等へ、職員を講師として派遣する。

(2) 積極的な広報・啓発の推進

県立図書館の機能・役割を県民に広く周知するために、要覧、館報（※）、利用案内の発行等を行うほか、より県民に親しみやすく、また、時宜を得た情報を発信するため、X（旧ツイッター）を積極的に活用するなどして、図書館の広報を推進する。

※千葉県立中央図書館報『千葉文化』、千葉県立西部図書館だより『West Library』、千葉県立東部図書館だより『知識は旅をする』

ア 県立図書館ホームページの充実

イ X（旧ツイッター）を活用した所蔵資料・事業内容紹介

ウ 千葉県資料の県民向け広報の実施

エ 広報紙等による所蔵資料・事業内容紹介、館報等のバリアフリー化（テキスト版作成）

オ 職場体験・インターンシップの受入れ〈西部・東部〉

小・中学生、高校生の職場体験、高校生・大学生のインターンシップ受入れ

第6 県立図書館の事業点検及び再編準備

1 行動計画の取組の推進

「千葉県立図書館行動計画」の進捗状況を図書館協議会へ報告し、意見をいただくとともに、ホームページに公表して図書館サービスの向上や改善に努める。

2 利用者アンケートの実施

図書館利用の満足度等利用状況を把握し、図書館運営の参考とするため、秋の読書週間に利用者アンケートを実施する。

3 県立図書館の再編準備

平成30年度から1館集約に向けた物流や研修、資料収集等といった課題の整理及び検討、計画、準備を進めており、引き続き取り組んでいく。

4 東部図書館における旭市図書館の一部使用

東部図書館の旭市への移譲までの間、施設の一部を旭市図書館として使用することに伴い、令和3年7月10日に開館した旭市図書館と東部図書館の利用者サービスが円滑に行えるようにする。

千葉県立図書館行動計画（令和 6 ～ 8 年度）

1 策定の趣旨

平成 30 年 1 月に千葉県教育委員会において、これからの時代にふさわしい県立図書館の指針として「千葉県立図書館基本構想」を策定し、これを踏まえ県立図書館では、光り輝く「教育立県ちば」の実現と「読書県ちば」の飛躍に向けて大きく寄与するとともに、県民の皆様の期待により一層応えることのできる図書館となるよう取り組むため、「千葉県立図書館運営方針」（以下「運営方針」という。）を定めました。

この運営方針に基づき「千葉県立図書館行動計画」（以下「計画」という。）を策定しており、令和 3 年度から 5 年度までの計画（以下「前期計画」という。）の期間が終了したことから、令和 6 年度から 8 年度の計画（以下「今期計画」という。）を策定したところです。

今期計画については、運営方針に変更がないため、大枠は前期計画を継承するものとしていますが、DX 化の発展など社会状況の変化を踏まえて、今後 3 年間特に重点的に取り組むべき項目と評価指標を設定しました。

今後とも、目標達成に取り組むとともに、達成状況の自己点検及び第三者評価を行い、図書館サービスの向上に努めてまいります。

2 計画期間

令和 6 年度から 8 年度までの 3 年間

3 計画内容

運営方針に基づき、県立図書館の 6 つの役割・機能について、次のとおり重点項目を設定し、それぞれについて主な取組と達成状況を測るための評価指標、目標値を設定します。

役割・機能	重点項目
1 県内図書館の中核としての役割	(1) 市町村立図書館等への支援 (2) 図書館職員研修の充実
2 子どもの読書活動の推進	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進 (2) 学校図書館への支援
3 課題解決支援図書館	課題解決支援サービスの充実
4 千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進
5 県民が利用しやすいサービス	図書館利用が困難な人々へのサービスの充実
6 機能の重なりから生まれるもの	(1) 知的交流の場の提供 (2) 博物館などとの連携の推進

※令和 3 ～ 5 年度と令和 6 ～ 8 年度の行動計画の対照表は P19 参照。

千葉県立図書館行動計画（令和6～8年度）

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			評価指標	目標値
			R6	R7	R8		
1 県内図書館の中枢としての役割	(1) 市町村立図書館等への支援	運営相談の実施 ・全市町村を訪問し、図書館運営等について助言や援助を行う。 ・電話やメール等による運営相談は随時受け付ける。	▶	▶	▶	市町村立図書館等の運営相談件数	345
		資料の図書館間貸出 ・市町村立図書館等の求めにより、県立図書館所蔵資料を提供する。	▶	▶	▶		
		市町村立図書館等職員への情報発信 ・図書館ホームページを活用し情報の発信・共有を行う。	▶	▶	▶		
		新館における資料搬送サービスの検討 ・市町村に対するアンケート調査を実施し、新館における資料搬送について検討を進める。	▷	▷	▷		
		県内最後の1冊保存体制の検討 ・県内図書館の意見を聴取し、共通ルール（案）を作成する。	▷	▷	▷		
	(2) 図書館職員研修の充実	研修会の実施 ・経験別研修、分野別研修の研修結果を分析し、研修プログラムの充実を図る。	▶	▶	▶	研修会の受講者数	720
		研修機会の拡充 ・オンラインによる遠隔開催や地域別開催、研修動画の配信を実施する。	▶	▶	▶		
		研修会のアーカイブ化 ・国内事例等の調査や課題等の洗い出しを行い、研修会のアーカイブ化について検討を進める。	▶	▶	▶		
2 子どもの読書活動の推進	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進	読み聞かせ活動の推進 ・読み聞かせボランティア養成講座や組織運営を学ぶ講座等を実施する。 ・読み聞かせボランティア等の活動の場を提供する。	▶	▶	▶	子どもの読書活動推進センターページアクセス数	1,030
		県立学校への電子書籍サービスの提供 ・県立学校のICT環境を活用して、県立図書館の電子書籍サービスを提供する。	▶	▶	▶		
		ヤングアダルトサービスの拡充 ・市町村立図書館や学校図書館等の担当者を対象とした研修会を実施する。 ・ヤングアダルトサービスに関する情報交換等の場を提供する。 ・市町村立図書館や学校図書館等と連携事業を研究する。	▷	▶	▶		
		外国にルーツのある子どもや保護者等への支援 ・母語に触れることができる児童書を収集する。 ・図書館見学会や外国語でのおはなし会等子ども向けの国際交流を目的としたイベントを実施する。 ・関連諸機関に県立図書館の多文化サービスについての情報を提供する。 ・市町村立図書館等の多文化サービスを支援する。	▷	▷	▶		
		聴覚や言語に障害のある子どもやその保護者への支援 ・手話付きおはなし会の開催を研究する。 ・病院等への出前事業などアウトリーチサービスを研究する。	▷	▷	▶		
		児童書選定支援用資料の収集 ・市町村立図書館等向けの児童書選定支援用資料の収集範囲や運用等の検討を進める。 ・児童書選定支援用資料のモデル展示や出張展示、リスト公開等について検討を進める。	▷	▷	▶		
		子どもたちが自身が参加するイベント等の実施 ・図書館マイスター講座、読書会やビブリオバトルを実施する。 ・本の紹介POP作成など設備・機材を活用したイベントについて研究する。	▷	▷	▶		
	(2) 学校図書館への支援	資料の貸出 ・調べ学習用の学校貸出セットを整備（新規作成・改訂）し提供する。 ・未登録校に対し、新規登録を促進する。	▶	▶	▶	貸出利用があった県立学校等の割合	50.0%
		県立学校の読書活動の支援 ・県立高等学校の生徒向け読み聞かせ講座、図書館活用講座等を実施する。 ・県立特別支援学校を訪問し、読書活動を支援する。	▶	▶	▶		
		学校における探究学習の支援 ・教科書単元・テーマ別資料リストを作成（追加・改訂）し提供する。 ・図書館を活用した授業等についての情報を発信する。 ・探究学習についての利用支援方法を検討する。	▶	▶	▶		
		市町村立図書館等と小・中学校図書館連携の支援 ・教科書単元・テーマ別資料リストなど資料情報を市町村立図書館等を通じて学校図書館に周知する。	▶	▶	▶		
		資料の県立学校間貸出 ・県立学校等の相互貸借について、ニーズを把握するために実態調査を実施し、運用等の検討を進める。	▷	▷	▷		

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			評価指標	目標値
			R6	R7	R8		
3 課題解決支援図書館	課題解決支援サービスの充実	課題解決支援サービスの提供 ・法律情報支援サービス、医療情報支援サービス、シニア支援情報サービス等を提供する。 ・行政課題等の解決に資する資料を収集・提供する。 ・テーマごとに基本資料や調査方法をまとめたパスファインダー（調べ方案内）を作成・提供する。 ・時事問題等に関する情報提供サービスとして「図書館から世界（ニュース）が見える」を作成・提供する。	▶	▶	▶	パスファインダー及び「図書館から世界（ニュース）が見える」ページ閲覧数	46,050
		オンラインデータベースの整備 ・県民のニーズに対応した幅広い分野のデータベースを整備する。	▶	▶	▶		
		オンラインデータベースの利用時間の拡充 ・図書館の閉館時間帯でもデータベース利用ができるサービスについて研究する。	▷	▷	▶		
		県政の重要課題の把握 ・県政の重要課題の把握に努め、課題に沿った資料の収集を行う。 ・県議会図書室と連携して県議会議員の調査研究活動を支援する。	▶	▶	▶		
		県内機関との連携強化 ・県内機関の活動や取組に関する情報を、図書館の情報発信機能等により県民に提供する方法を研究する。	▷	▷	▶		
		県の政策形成の支援 ・千葉県の政策や関連イベント関係資料の収集・提供方法を検討する。 ・情報探索技術向上研修など県職員向けの研修講座を企画する。	▷	▷	▶		
		新館における資料管理の検討 ・電子書籍の収集など新館における資料収集・整理・管理方法を検討する。	▷	▷	▷		
		新館における主題別係編成による効果的なサービス提供と事業展開の研究 ・多様化・専門化する県民ニーズに応えられる蔵書構築を目指し、各主題の情報収集や研究を行う。 ・各主題における資料や情報源に関する知識を有する司書の育成方法を研究する。	▷	▷	▷		
4 千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	千葉県関係資料の収集の充実 ・インターネットや新聞記事等で出版情報を幅広く集め、千葉県関係の寄贈資料を収集する。 ・官公庁等のオープンデジタル資料を漏れなく収集する方法を研究する。	▶	▶	▶	千葉県関係資料受入数（購入を除く）	2,392
		千葉県関係資料の提供 ・国立国会図書館レファレンス協同データベースにデータを提供する。 ・パスファインダー、テーマ別リスト、書誌情報など千葉県関係情報に到達しやすい環境を整備する。 ・千葉県関係資料データベース「葉の花ライブラリー」にデータを追加する。	▶	▶	▶	レファレンス協同データベース 千葉県関係レファレンス事例の閲覧数	99,775
		千葉県関係情報のデジタルアーカイブ化 ・地図や郷土誌、県が編集発行した行政資料などのデジタル化を計画的に進める。	▶	▶	▶		
		インターネット上の地域行政資料の収集・提供方法の検討 ・県として遺すべき千葉県に関するインターネット上の情報の収集方法を検討する。 ・県や他機関等の未デジタル化情報の状況を調査し、公開に向けた連携・支援の方法を検討する。	▷	▷	▷		

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			評価指標	目標値
			R6	R7	R8		
5 県民が利用しやすいサービス	図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	電子書籍サービスの提供 ・電子書籍を整備し、電子書籍サービスを提供する。	▶	▶	▶	電子書籍の利用数	20,000
		障害者用コンテンツの提供 ・点訳絵本、録音図書、テキストデータ等を作成し提供する。 ・サビエ図書館や国立国会図書館等と連携し、所蔵資料の書誌登録や作成データを提供する。	▶	▶	▶	国立国会図書館提供データダウンロード数	5,600
		遠隔対面朗読の実施 ・ウェブ会議システム等を使用して、図書館に来館せずに自宅等で利用できる音訳サービスを提供する。	▶	▶	▶		
		講座・イベントのオンライン開催 ・ウェブ会議システム等を活用し、オンライン上で講座・イベントを開催する。 ・講座・イベント会場から同時配信する環境を整備する。	▶	▶	▶		
		読書バリアフリーの推進 ・市町村立図書館職員、学校教職員、支援者等への公開講座や出前講座を開催する。 ・市町村立図書館等に読書バリアフリー資料紹介セットを貸出す。 ・関係機関と情報共有ネットワークを構築し、サービスを必要とする人に情報を届ける。	▶	▶	▶		
		高齢者の「生涯現役社会」につながるサービスの提供 ・高齢者の社会参加や課題解決につながる情報提供やサービスを提供する。	▷	▷	▶		
		多文化サービスの提供 ・日本語を母語としない県民やその支援者のニーズを調査し、多文化サービスのあり方を研究する。 ・図書館見学会や外国語でのおはなし会などのイベントを実施する。	▷	▷	▶		
		新館におけるバリアフリーサービスの研究 ・オンライン手話通訳サービス、手話通訳者や託児スタッフの配置など新しいサービスのあり方を研究する。 ・障害や発達段階別のおもちゃや福祉機器等に触れられるイベント等の実施について研究する。	▷	▷	▷		
		新館における非来館型サービスの研究・開発 ・利用案内、調べ方案内の24時間対応サービスについて研究・開発する。 ・簡易レファレンスのオンライン・自動対応化について研究・開発する。 ・スマートフォンで利用できるバーチャル図書館について研究・開発する。 ・県立図書館資料の県内市町村立図書館等での受取・返却について研究する。	▷	▷	▷		
6 機能の重なりから生まれるもの	(1) 知的交流の場の提供	県民向け講座の実施 ・図書館活用講座、データベース活用講座等を実施する。	▶	▶	▶	県民向け講座等の参加人数	395
		県民向け講座の受講機会の拡充 ・オンラインによる遠隔開催や出前講座の開催、研修動画の配信を実施する。	▷	▶	▶		
		学び直しの場の提供 ・県民が自学自習できる場としての機能・環境を提供する。	▶	▶	▶		
		県民参加型プロジェクトの研究 ・県民が継続的に参加できる多様なプロジェクトのあり方を研究する。	▷	▷	▶		
		県民が交流できる場の提供 ・図書館協力者、ボランティア、市民活動団体等の連携・協働を促進するための交流会を企画する。 ・図書館協力者、ボランティアの育成研修会を企画する。	▷	▷	▶		
		新館における知的交流のあり方の研究 ・県民が人脈形成しながら連携・協働ができる場について研究する。 ・新館に整備予定の研修室や展示コーナー等の活用方法について検討する。	▷	▷	▷		
		積極的な広報・PRの推進 ・県立図書館ホームページ、X（旧ツイッター）等SNSで、積極的に情報を発信する。	▶	▶	▶	X（旧ツイッター）等SNSのフォロワー数	208
	(2) 博物館などとの連携の推進	連携事業の実施 ・博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等と連携して、展示、講座等を実施する。	▶	▶	▶	連携事業の実施回数	20
		連絡調整会議の開催 ・博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等との連絡調整会議を定期開催する。	▶	▶	▶	連携イベント参加者数	364

※各年度とも目標値を目指す。

凡例 ▶ 実施
▷ 検討

千葉県立図書館行動計画の評価指標 対照表

令和3～5年度			令和6～8年度		
役割・機能	重点項目	評価指標	役割・機能	重点項目	評価指標
1 図書館ネットワークの発展	市町村立図書館等への支援の強化	市町村立図書館等への貸出冊数 市町村立図書館等の運営相談件数	1 県内図書館の中枢としての役割	(1) 市町村立図書館等への支援	市町村立図書館等の運営相談件数
2 図書館職員の資質向上	図書館職員研修センター機能の強化	研修受講者の満足度		(2) 図書館職員研修の充実	研修会の受講者数
3 子どもの読書活動の推進	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進	地域の子どもの読書活動の推進に資する刊行物	2 子どもの読書活動の推進	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進	子どもの読書活動推進センターページアクセス数
	(2) 学校図書館への支援の強化	県立学校等への貸出冊数 学校貸出セットの新規整備・改訂数		(2) 学校図書館への支援	貸出利用があった県立学校等の割合
4 課題解決支援図書館	課題解決支援、調査研究機能の強化	パスファインダー及び「図書館から世界(ニュース)が見える」発行件数	3 課題解決支援図書館	課題解決支援サービスの充実	パスファインダー及び「図書館から世界(ニュース)が見える」ページ閲覧数
5 千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	千葉県に関する情報発信件数 (レファレンス事例、パスファインダー、テーマ別リスト、「図書館から世界(ニュース)が見える」等作成件数)	4 千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	千葉県関係資料受入数(購入を除く) レファレンス協同データベース千葉県関係レファレンス事例の閲覧数
6 知の創造と循環を生み出す公共の場	(1) 博物館など関係機関との連携の推進	連携事業の実施回数	5 県民が利用しやすいサービス	図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	電子書籍の利用数 国立国会図書館提供データダウンロード数
	(2) 図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	障害者サービス・多文化サービス関連のコンテンツの作成数			
	(3) 情報発信機能の強化	X(旧ツイッター)の発信件数	6 機能の重なりから生まれるもの	(1) 知的交流の場の提供	県民向け講座等の参加人数 X(旧ツイッター)等SNSのフォロワー数
				(2) 博物館などとの連携の推進	連携事業の実施回数 連携イベント参加者数

電子書籍の活用促進について

1 電子書籍導入の概要

県民だれもが居住地や時間の制約を受けずに、暮らしやビジネスに関する課題解決及び学習に必要な専門的な情報を容易に入手できる環境を整える。

また、活字による読書が困難な方に音声読み上げに対応する電子書籍を提供し、読書バリアフリーを実現することを目的として導入

令和 6 年 5 月 28 日（火）午前 9 時からサービスを開始したところである。

2 導入した電子書籍の内容

種 類：(株)紀伊國屋書店が提供している「KinoDen^{キノデン}」を採用

採用理由：掲載冊子数が 9 万点あり、国内で広く採用されている

また、学術和書を中心に取り扱いっており当館の収集方針と合致するため

導入冊数：2,980 冊（令和 6 年 7 月 25 日現在）

閲覧回数上位タイトルについては別添のとおり

選書基準：調査研究に資するものを中心に現行の収集方針に沿って選書

3 電子書籍の利用方法

当館の資料貸出券番号と当館ホームページの「マイライブラリー」にログインするためのパスワードがあれば即日利用可能

ない場合は発行いただく形となるが、資料貸出券の新規発行や再発行・パスワードの発行は、窓口・郵送の他にオンライン上でも申請可能（7 営業日以内に発行）

4 活用目標値

千葉県立図書館行動計画（令和 6～8 年度）に記載

5. 県民が利用しやすいサービス

（1）図書館利用が困難な人々へのサービスの充実

電子書籍の利用数：20,000 アクセス / 1 年

5 現状

	5 月末 アクセス数	6 月末 アクセス数	累計
電子書籍閲覧数	688	2,792	3,480
上記のうち読書バリア フリー対応資料閲覧数	162	157	319

* 1 日平均アクセス数：約 102 件（6 月末時点）

6 実施した広報手段等

- ・ 記者発表
- ・ 当館のホームページ、Xに掲載
- ・ 県教育委員会広報誌等に掲載（県教委ニュース、夢気球、社会教育主事ネットワークメルマガ）
- ・ 読書サポーターのための ICT 活用講座内での説明・操作案内（西部図書館開催）
- ・ 西部エリア高等学校図書館相互協力担当者会でチラシ配布（西部図書館開催）
- ・ 県内公共図書館にチラシ送付
- ・ 県庁各課、県立高等学校、県立美術館・博物館、県内大学にチラシ送付
- ・ 県広報誌に掲載希望（県民だより 1 1 月号）

7 今後実施を検討している広報手段等

- ・ 電子書籍体験講座開催予定（中央図書館内及びオンライン上 100 名程度対象）
- ・ サービス提供者（紀伊國屋書店）側からの宣伝
- ・ 千葉県高等学校教育研究会学校図書館部会での広報
- ・ 病院や駅の掲示板等、不特定多数の人が訪れる場所にポスター掲載

電子書籍の閲覧回数上位タイトル（月別・上位10件）

令和 6 年度第 1 回千葉県図書館協議会資料

5月(5/28-5/31)			6月	
全体		回数	全体	回数
1	ふるさとの思い出写真集 明治大正昭和 銚子	43	まるごとわかる！生活習慣病	94
2	ビジュアル 日本のお金の歴史	19	会社四季報 業界地図	80
3	超リアル 戦国 武士と忍者の戦い図鑑	15	昭和史 戦後篇 1945-1989	46
4	昭和史 1926-1945	15	【新版】日本の民話	41
5	AI〈人工知能〉のきほん	15	ホンモノの偽物	38
6	新しい世界の資源地図	13	千葉県の鉄道	37
7	英語が好きになる	13	昭和史 1926-1945	35
8	文献調査法 第10版	12	(オーディオブック)昭和史(上)	30
9	東京のちいさな美術館めぐり 改訂新版	9	岩波講座日本歴史	30
10	だまされる目 錯視のマジック	9	ふるさとの思い出写真集 明治大正昭和 千葉	30
読み上げ可能タイトル		回数	読み上げ可能タイトル	回数
1	昭和史 1926-1945	15	昭和史 戦後篇 1945-1989	46
2	新しい世界の資源地図	13	【新版】日本の民話	41
3	君はどんな大人になりたい？	8	ホンモノの偽物	38
4	【新版】日本の民話	8	昭和史 1926-1945	35
5	(オーディオブック)昭和史(上)	8	(オーディオブック)昭和史(上)	30
6	文にあたる	7	歪んだ正義	28
7	雑学事典	7	文にあたる	27
8	ユマニチュードへの道	5	想像力	22
9	日本マンガ全史	5	雑学事典	22
10	平田篤胤	5	SNS別 最新 著作権入門	21
アプリ		回数	アプリ	回数
1	ビジュアル 日本のお金の歴史	9	昭和史 戦後篇 1945-1989	15
2	新しい世界の資源地図	9	新しい世界の資源地図	14
3	英語が好きになる	7	まるごとわかる！生活習慣病	13
4	超リアル 戦国 武士と忍者の戦い図鑑	5	現代台湾クロニクル 2014-2023	13
5	昭和史 1926-1945	3	ホンモノの偽物	10
6	倭国のなりたち	3	だまされる目 錯視のマジック	10
7	AI〈人工知能〉のきほん	2	宗教からアメリカ社会を知るための48章	10
8	ユマニチュードへの道	2	地図でみる城下町	9
9	現代台湾クロニクル 2014-2023	2	ポストキャピタリズム	8
10	岩波講座日本歴史	2	雑学事典	6
未所蔵タイトル		回数	未所蔵タイトル	回数
1	hana	2	一度読んだら絶対に忘れない化学の教科書	4
2	星を見る人	2	人工知能	3
3	百鬼園 戦前・戦中日記	1	あした死んでも後悔しないためのノート Special	3
4	〈妊婦〉アート論	1	十五年戦争小史	2
5	写真レファレンス事典 街並み・風景篇	1	英語で日本紹介ハンドブック	2
6	戦争と人びとの暮らし 1926-1945	1	数学の作法	2
7	「東京文学散歩」を歩く	1	人間の許容限界事典	2
8	鉄壁の資産運用	1	逝きし世の面影	2
9	2024年に上がる株	1	同時通訳者のここだけの話	2
10	非典型財産の相続実務	1	電子書籍ビジネス調査報告書	2

令和 5 年 1 1 月 2 5 日
令和 6 年 7 月 2 5 日修正

千葉県立図書館サービス計画（素案）について

趣 旨

「千葉県立図書館基本構想」の実現に向け、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に示す事業計画として、現在、「千葉県立図書館行動計画」を公表しているところであるが、新館設置以降は「千葉県立図書館サービス計画」とし、県立図書館事業に関する基本的な方針・施策を定め、引き続き公表していく。

○図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成 24 年 12 月 19 日文部科学省告示第 172 号）

第二 公立図書館

一 市町村立図書館

1 管理運営

（一）基本的運営方針及び事業計画

- 1 市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針を策定し、公表するよう努めるものとする。
- 2 市町村立図書館は基本的運営方針を踏まえ、図書館サービスその他図書館の運営に関する適切な指標を選定し、これらに係る目標を設定するとともに、事業年度ごとに、当該事業年度の事業計画を策定し、公表するよう努めるものとする。
- 3 市町村立図書館は、基本的運営方針並びに前項の指標、目標及び事業計画の策定に当たっては、利用者及び住民の要望並びに社会の要請に十分留意するものとする。

二 都道府県立図書館

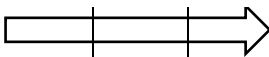
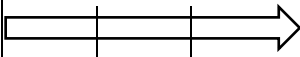
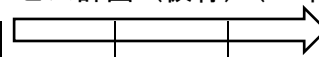
6 準用

第二の一に定める市町村立図書館に係る基準は、都道府県立図書館に準用する。

経 緯

平成 3 0 年 1 月	「千葉県立図書館基本構想」策定
平成 3 0 年 9 月	「千葉県立図書館行動計画（平成 30～32 年度）」策定（第 1 次）
令和 元 年 8 月	「新千葉県立図書館等複合施設基本計画」策定
令和 3 年 7 月	「千葉県立図書館行動計画（令和 3～5 年度）」策定（第 2 次）
令和 3 年 8 月	「新千葉県立図書館・県文書館複合施設整備計画」策定
令和 4 年 1 0 月～	「千葉県立図書館サービス計画（素案）」検討開始
令和 6 年 3 月	「千葉県立図書館行動計画（令和 6～8 年度）」策定（第 3 次）
新館設置以降～	「千葉県立図書館サービス計画」策定（予定）

スケジュール

年 度 名 称	令和 3	4	5	6	7	8	～	11	～	16
	第 2 次行動計画（3 年）							新館設置以降		
行 動 計 画				第 3 次行動計画（3 年）						
										
サービ								サービス計画（仮称）（6 年）		
ス計画										

※千葉県立図書館サービス計画は、新館設置以降、運用していく。

1 計画の位置付け等

(1) 計画の位置付け

本計画は、「千葉県立図書館基本構想」の目指す姿を「新千葉県立図書館・県文書館複合施設」において実現するため、「千葉県立図書館行動計画」での取組と課題、DX化の進展など社会状況の変化を踏まえて策定する。

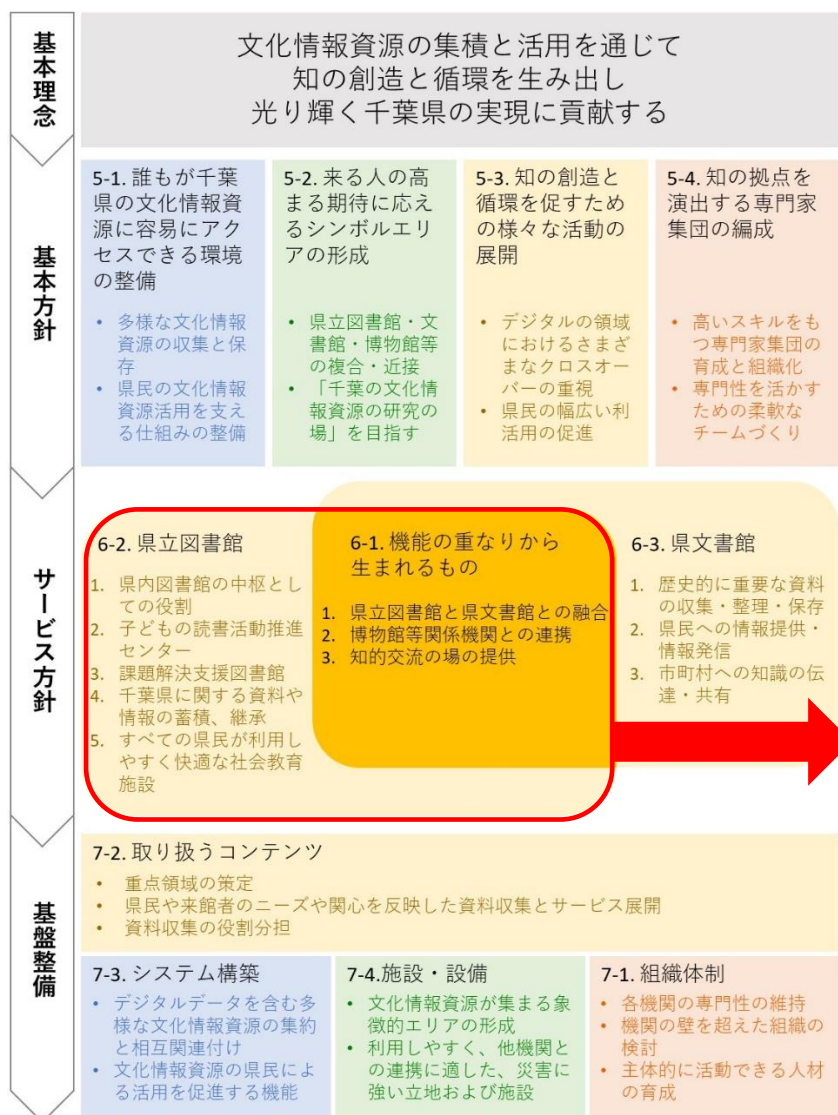
なお、「千葉県立図書館行動計画（令和3～5年度）」は現行「千葉県立図書館行動計画（令和6～8年度）」として策定した。

(2) 計画期間 新館設置以降6年間

(3) 計画の策定及び公表

図書館協議会にて計画の策定並びに毎年の事業結果及び事業計画についての承認を得るとともに、計画最終年度には達成状況の自己点検及び第三者評価を公表する。

「新千葉県立図書館等複合施設基本計画」(令和元年8月 千葉県・千葉県教育委員会)の全体像



< 6つの柱 >

- ① 県内図書館の中核としての役割
- ② 子どもの読書活動推進センター
- ③ 課題解決支援図書館
- ④ 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承
- ⑤ すべての県民が利用しやすい快適な社会教育施設
- ⑥ 機能の重なりから生まれるもの

1 県内図書館の中核としての役割

市町村立図書館等との役割分担を明確にし、専門的機能の強化を図るとともに、県内図書館及び関係機関のネットワークの中核としての役割を果たす。

【現状】

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
市町村立図書館等職員研修会 実施回数、参加人数、満足度 ☞要覧 p22-24,42	20 回 598 人 90.6%	23 回 490 人 94.5%	24 回 653 人 90.0 %	21 回 744 人 93.0 %	19 回 678 人 89.2%
県立図書館資料貸出冊数 (図書館等協力貸出) ☞要覧 p20,75-79	93,436	81,787	91,990	88,673	82,899
市町村立図書館等資料貸出冊数(千葉県公共図書館協会加盟館間 相互貸借) ☞要覧 p20,80-81	97,043	85,479	110,137	105,507	111,118
運営相談件数 ※ () は旧カウント方式 ☞要覧 p21,42	(101)	(108)	(188)	335 (230)	291 (192)
図書館設置自治体数 ☞要覧 p84	39	39	39	39	40

市町村立図書館等職員研修会

- ・市町村立図書館等職員の資質向上を目指し、研修会を開催。

県立図書館資料貸出

- ・図書館協力車による全自治体への週 1 回搬送を実施し、物流ネットワークを構築。

市町村立図書館等資料貸出

- ・図書館協力車による物流ネットワークで、図書館間相互貸借資料を搬送。

目録情報

- ・千葉県内図書館横断検索、新聞・雑誌総合目録検索を公開。

運営相談

- ・市町村立図書館等からの、図書館の管理・運営やサービスに関する相談に電話、メール等で随時対応するほか、全市町村を訪問し図書館運営相談等に応じている。

図書館設置自治体数

- ・令和 5 年 4 月の富津市立図書館開館により、県内 54 市町村のうち 40 市町に図書館設置となったが、依然として図書館設置率は全国平均より低い。

【課題】

市町村立図書館等職員に対する研修のアーカイブ化

- ・サーバ容量の確保、講師の許諾取得、動画を編集するのか、公開期間をどう設定するか、内容が古くなったら削除するのか等、技術面・運用面とも情報収集と検討が必要。

オンライン研修

- ・より受講しやすく、内容の理解度が高まるよう、運営方法を改善していく必要がある。

図書館運営にかかる情報発信

- ・地域によって実態の差が大きく要望も違うため、実態・ニーズを把握し求められている情報発信を行う必要がある。

相互協力による資料提供の迅速化

- ・市町村立図書館等を巡回する搬送車の運行頻度とコースの検討、精査が必要。
- ・高等学校の物流が現状では3エリアで異なっており、詳細検討が必要。

全市町村への図書館等運営相談

- ・地域によって実態の差が大きく要望も違うため、実態・ニーズを把握し求められている支援を行う必要がある。
- ・新館での相談実施体制の検討が必要。
- ・1館集約後も県立図書館が身近な存在であるように、より積極的な関係性の維持・向上の仕組みや、既存の「図書館ポータル」（図書館専用掲示板）の活性化が必要。

大学図書館との連携（相互貸借や連携事業の実施）

- ・連携先や連携内容の検討が必要。

資料の巡回展示の推進

- ・小規模図書館や図書館未設置市町村の読書施設に過度な負担なく支援できる方法を検討する必要がある。

【取組の状況】

オンライン研修の実施、 研修内容のアーカイブ化 現在 → 開館 → 開館後	・内容に応じてオンライン研修を実施し、研修のアーカイブ化を行うことで、遠隔地であることや職員数が少ないことを理由に集合研修に参加できない市町村立図書館等職員でもスキルアップが図れるようにする。
図書館運営にかかる情報発信 現在 → 開館 → 開館後	・運営相談等によって収集した各図書館の取組や課題等、図書館運営に係る情報を随時発信する。
相互協力による資料提供の 迅速化 現在 → 開館 → 開館後	・県立図書館所蔵資料や県内市町村立図書館等の所蔵資料の相互貸借について、搬送のタイムラグを減らし、県民に届くまでの時間を短縮する。
全市町村への図書館等運営 相談 現在 → 開館 → 開館後	・県内の市町村立図書館等を巡回して直接対話し、情報交換や運営状況の把握、共通の課題に対する意見交換を実施する。 ・メール・電話等での相談に随時対応し、個別の課題解決を支援する。 ・県立図書館の支援にこだわらず、市町村立図書館員同志の交流の視点も必要。
大学図書館との連携 （相互貸借や連携事業の実施） 現在 → 開館 → 開館後	・千葉市図書館ネットワーク協議会や県内大学図書館と連携。 ・大学図書館の「千葉県内図書館横断検索システム」への参加を促進し、相互貸借や連携事業を実施する。
資料の巡回展示の推進 現在 → 開館 → 開館後	・各館のニーズに合わせた資料の提供や「巡回展示」等により利用促進を図る。 ・効果的な資料提供方法を検討し、県民が、居住地に関わりなく必要な資料や情報を利用できる環境を整備する。

凡 例 矢印は取組の進捗状況



：未実施



：実施しているが課題あり⁴ 試行段階



：本格稼働

2 子どもの読書活動推進センター

県域の子どもの読書活動の推進に寄与し、赤ちゃんから中高生まで継続して本に親しめる環境を整えるとともに、子どもたちの情報リテラシー向上に資するため、子どもの読書活動推進センターとして、庁内各課や関係機関等と連携を図り、活動を展開する。

【現状】

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
児童書の購入冊数 ☞要覧 p72	1,498	1,376	1,397	1,482	1,427
おはなし会開催回数（参加人数） ☞要覧 p31-33	34(105)	9(23)	15(54)	46(182)	49(146)
読み聞かせボランティア講座開催数（参加人数） ☞要覧 p32	2(54)	1(23)	2(36)	2(68)	2(60)
訪問読書支援を行った特別支援学校数 ☞要覧 p26	20	9	17	15	26

児童書の収集

- ・近年は、年間出版タイトル数約 4500 点のうち、約 1400 点（約31％）購入。

子どもの読書活動推進行事

- ・おはなし会、親子で楽しむえほんの会を定例開催。
- ・毎年、冬のおはなし会を開催。

読み聞かせボランティアの育成

- ・令和4年度まで入門講座を県内2カ所で開催。
- ・令和5年度は経験者対象のステップアップ講座を県内2カ所で開催。

ヤングアダルトサービス

- ・児童資料室内に中高生向けのコーナーを設置し、ホームページで、調べ方案内や県内の図書委員活動を紹介し、X(旧 Twitter)でおすすめ図書の紹介をしている。

図書館利用の困難な子どもや保護者への支援

- ・点訳絵本・触る絵本等を収集し、コーナー「りんごの棚」で提供。
- ・点訳絵本は作成も行っている。
- ・特別支援学校への訪問読書支援を行っている。
- ・「子育て支援情報コーナー」を設置。

【課題】

児童書の網羅的収集と資料を比較検討する場の提供

子どもやヤングアダルトのための先進的な読書活動推進行事の開催

学校への電子書籍サービスの提供

読み聞かせボランティアの講師を務めることのできる人材の育成

ヤングアダルトサービスの情報やノウハウの蓄積と、全県での情報やノウハウの共有

図書館利用の困難な子どもや保護者への支援のための資料収集や読書活動推進行事の開催

【取組の状況】

児童書選定支援用資料の収集、モデル展示等の実施 現在 → 開館 → 開館後	・市町村立図書館等や学校図書館、ボランティア団体等が児童書の新刊を選書できるよう、また資料保存のため、児童書を収集する。 ・収集した資料は、モデル展示、リストの公開、出張展示等を実施。
子どもたち自身が参加するイベント等モデル事業の実施・普及 現在 → 開館 → 開館後	・図書館マイスター講座、読書会やビブリオバトル、本の紹介POP作成等や、設備・機材を活用した先進的なイベントを行う。
学校への電子書籍サービスの提供 現在 → 開館 → 開館後	・学校のICT環境を活用して、県立図書館の電子書籍を学校でも利用できるようにし、読書環境の充実を図る。
読み聞かせ講座講師等の養成 現在 → 開館 → 開館後	・読み聞かせボランティアの養成やグループの組織運営等を行うことができるようになるための講座を実施する。 ・読み聞かせを必要としている場と、ボランティアを結び付けるなど、ボランティア等の活動の場を提供する。
ヤングアダルトサービスの拡充 現在 → 開館 → 開館後	・学校図書館及び市町村立図書館等の担当者を対象としたヤングアダルトサービスに関する研修会を実施。 ・情報交換等の場を提供し、市町村立図書館等や学校図書館と連携したモデル事業を行う。
図書館利用の困難な子どもや保護者への支援 現在 → 開館 → 開館後	・外国にルーツのある子どもとその保護者等への支援のため、母語に触れることができる児童書等の収集、図書館見学会や外国語でのおはなし会等子ども向けの国際交流を目的としたイベントの実施、関連諸機関への県立図書館の多文化サービスについての情報提供を行う。 ・市町村立図書館等への多文化サービスの普及を支援する。 ・聴覚や言語に障害のある子どもやその保護者への支援のため、手話付きおはなし会の開催や、病院等への出前事業などのアウトリーチサービスの拡充に努める。

3 課題解決支援図書館

県民・県内企業・団体が直面する課題の解決を支援し、まちづくりや地域の課題解決に貢献するため、課題の主題に対応した蔵書の構築と調査ツールを整備するとともに、資料や情報源一般についての幅広い知識を持ち、主題の資料や情報源に精通した司書の配置を行う。

各分野の専門家と連携し、お互いの専門性を活かした支援を行う。

【現状】

	R1	R2	R3	R4	R5
導入データベースの種類 ☞要覧 p9-10	令和元年度データベース 13 種追加			28	27
課題解決支援講座開催数（参加人数） ☞要覧 p30	6（119）	4(44)	3(28)	6(86)	8（106）
県庁各課への貸出冊数（うち出先機関への郵送） ☞要覧 p33,76-78	877(49)	1,425(148)	2,190(230)	2,049(232)	2,977 (1,278)
県庁各課への協力レファレンス ☞要覧 76-78	136	129	178	129	130
調査相談件数（メールレファレンス） ☞要覧 p74	1,050	590	800	706	722

データベース

- ・ 国立国会図書館や民間業者が提供するオンラインデータベースを館内で利用者に提供し、データベース活用講座を開催している。

調べ案内（パスファインダー）

- ・ 新規・改訂テーマを年度ごとに計画し、作成、提供している。

時事情報サービス

- ・ 時事問題や地域の課題等に関するテーマについてのブックリストを作成している。

課題解決支援サービス

- ・ ぐらしに役立つ法律・判例情報講座、医療・健康情報講座等を開催している。
- ・ 「ぐらしに役立つ法律・判例情報コーナー」を設置。
- ・ 「健康・医療情報コーナー」を設置。

【課題】

司書の育成、他機関との連携強化

蔵書構築での収集の薄い分野が存在している

データベースの利活用

行政支援、県政関係の広報

調べ案内の体系化

県民向け情報活用講座へのアクセス

【取組の状況】

電子書籍サービス導入※ 	・遠隔地や開館時間中の来館が困難な県民、紙の資料の利用が困難な高齢者や障害者の読書環境の向上を図るため、電子書籍サービスを導入する。
主題別司書の育成 	・主題別係編制を採用し、各主題における資料や情報源に関する知識を有する司書を育成する。
主題別係編制による蔵書構築 	・効果的なサービス提供や事業展開ができるよう主題別係編制を採用し、各主題の情報収集や研究を深め、的確な選書を行うことで多様化・専門化する県民ニーズに応えられる蔵書構築を行う。
県内機関との連携強化 	・他機関と連携し、その活動や取組に関する情報を、図書館の持つ情報発信機能等により、広く県民に提供する。 ・図書館活動を広げるため、他機関の開催するイベント等に参加する。
オンラインデータベースの整備・利活用の拡充 	・県民のニーズに対応した幅広い分野のデータベースを継続して整備する。 ・新しいサービスを開発（導入）し、図書館が閉館している時間帯でもデータベースの利用ができるよう整備する。
県庁各課等への情報提供、政策形成支援 	・政策や関連イベントについての資料を積極的に収集して提供する。 ・県職員に向けて図書館の活動や利便性を積極的にアピールするとともに、情報探索技術を向上させられるような研修の場を設ける。
県政の重要課題の把握と県議会図書室との連携 	・県政の重要課題の把握に努め、課題に沿った資料の収集を行う。 ・県議会図書室との連携を密にし、県民の代表である県議会議員の調査研究活動を支援する。
県民向け情報活用講座の拡充 	・来館できない利用者のためにオンラインや出前開催、ホームページでの動画公開等による方法を導入する。

※令和6年5月28日より電子書籍サービスを始めたことによる変更

4 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

千葉県に関する資料や情報は、県民の財産であるとともに、県民がまちづくりを考え、地域の課題を解決していくためにも不可欠なもの。

国立国会図書館等と連携しながら、県立図書館が千葉県内のあらゆる情報を集め、千葉に関する情報の調査研究機能や地域の情報発信拠点としての機能を強化することで、地域の調査研究活動を推進する。

【現状】 ※すべて3館合計

	R3	R4	R5
蔵書のうち千葉県資料（図書）冊数 要覧 p71	123,213	125,899	128,619
千葉県関係新聞受入タイトル数要覧 p73	38	38	41
千葉県関係新聞雑誌タイトル数要覧 p73	2,590	2,631	2,932
千葉県デジタルアーカイブ収録タイトル数	2,121	2,142	2,158

千葉県関係資料の計画的な収集体制の整備

- ・冊子やDVD等パッケージになっている資料を収集している。ボーンデジタル（※）資料は一部をプリントアウトして収集している。
- ※ボーンデジタル…初めからデジタルデータとして作成されるコンテンツ。冊子体が刊行されず、電子体のみが発行される書籍等。

千葉県関係資料の提供

- ・千葉県内図書館横断検索により、県立図書館の資料と県内市町村立図書館等（参加館のみ）、県文書館、総合教育センター、県立博物館の資料を一度に検索できる。
- ・貴重な地域資料をデジタル化して「千葉県デジタルアーカイブ」として公開しており、「千葉県デジタルアーカイブ」がジャパンサーチと連携している。
- ・千葉県内デジタルアーカイブリンク集を作成、公開している。

千葉県関係資料の保存・継承

- ・戦前の紙資料について、順次デジタル化を行っている。
- ・一部のマイクロフィルムについて、デジタル化を行っている。

【課題】

千葉県関係資料の計画的な収集体制の整備

- ・ボーンデジタル資料をデジタルデータとして収集、保存できていない。利用に供するためには、メタデータ（図書で言えば著者名、タイトル、出版者、出版年等にあたる、資料の特徴を表現するデータ）を作成し、目録システムを構築して検索できるようにする必要もある。
- ・パッケージ資料にもボーンデジタル資料にも情報が乏しい千葉県に関する事柄の記録。

千葉県関係資料の提供

- ・千葉県内図書館横断検索参加館以外の千葉県関係資料を所蔵している機関とのシステム連携や、ボーンデジタル資料の存在把握が不十分である。

- ・「千葉県デジタルアーカイブ」を含む「菜の花ライブラリー」(※)は、構築開始から時間が経ち、新しい技術への対応が必要となっている(高精細画像の提供、IIIF(トリプルアイエフ)対応等)。
- ※菜の花ライブラリー…千葉県立図書館が運営する、千葉県に関する資料のデータベース。「千葉県デジタルアーカイブ」と「索引」および「調べ方案内(パスファインダー)」からなる。
- ・県内には、ジャパンサーチと連携しておらず、個別に検索するしかないデジタルアーカイブが存在する。また、アーカイブ化されていないデジタルデータが散在している。
- ・「千葉県デジタルアーカイブ」のコンテンツに翻刻、解説、テキストデータを表示することで、アクセシビリティ、ユーザビリティを向上させることができる。

千葉県関係資料の保存・継承

- ・新聞の原紙やマイクロフィルム等、劣化が激しく、閲覧に堪えない資料がある。
- ・閲覧できる資料でも、相互貸借が難しく来館しなければ利用できない資料が多い。

【取組の状況】

多様な形態の千葉県関係電子情報収集・提供 現在 開館 開館後	・インターネット上に表現された言説、記述、動画、音声などの千葉県関係情報を収集・アーカイブ化する。
千葉県に関する回顧録(オーラルヒストリー)のアーカイブ化 現在 開館 開館後	・県として遺すべき千葉県に関する情報のうち、記録の乏しい事柄について、関係者にインタビューを行い、回顧録(オーラルヒストリー)を制作し、アーカイブ化して公開する。
千葉県関係資料・情報のプラットフォームの構築 現在 開館 開館後	・全国に散在する千葉県に関する情報源の把握を進め、横断検索、システム連携等により、一度にアクセスできるような仕組みを構築する。
デジタルアーカイブ構築の推進と「千葉県デジタルアーカイブ」の更新 現在 開館 開館後	・デジタルデータを所有していてデジタルアーカイブを構築していない機関に対して、デジタルアーカイブ構築の支援を行う。 ・千葉県デジタルアーカイブを更新し、独自のデジタルアーカイブを構築しない機関のデータを搭載する。
ジャパンサーチと県内デジタルアーカイブの連携の推進 現在 開館 開館後	・県内外からの利用可能性の向上のため、ジャパンサーチと連携していない県内のデジタルアーカイブと連携する。
デジタル化資料のアクセシビリティ、ユーザビリティ向上 現在 開館 開館後	・デジタル化してインターネット上で公開した資料について、多様な利用者が支障なく使えるようにする。 ・より利便性を高めるために、古文書等の翻刻・解説作成、画像として公開している資料本文のテキストデータ化等の実施に向けて研究する。
千葉県関係新聞のデジタル化(デジタルデータ化) 現在 開館 開館後	・長期保存と利活用のため、千葉県関係新聞の原紙及びマイクロフィルムをデジタル化する。 ・調査研究の利便性を向上させるため、デジタルデータを公開できるよう努める。

5 すべての県民が利用しやすいサービス

千葉県文化情報資源や専門家集団が集まる知的生産の象徴となると同時に、老若男女を問わず、障害のある人にもない人にも、ICTを活用する人にもしない人にも、すべての県民に等しく良質な図書館サービスを提供する。

【現状】

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
県立図書館ホームページアクセス数 同 WEB 予約数（個人） ☞要覧 p28,74	327,987 19,299	351,445 23,981	361,949 28,067	332,241 25,066	481,645 22,913
郵送による貸出 ☞要覧 p30,33	15 件 34 冊	133 件 354 冊	34 件 78 冊	43 件 192 冊	39 件 137 冊
録音図書の貸出タイトル数 ☞要覧 p75	12,739	11,449	11,445	10,266	8,663
障害者サービス研修会の実施 （図書館職員向け） ☞要覧 p23	2 回 54 人	2 回 44 人	2 回 42 人	2 回 53 人	2 回 54 人
高齢者等への大活字図書の貸出冊数 ☞要覧 p75	2,094	2,146	2,950	3,088	2,072
障害者サービス・多文化サービス関連の コンテンツの作成数 ☞要覧 p45	28	32	28	38	35

非来館型サービス

- ・郵送による利用登録、貸出し、複写サービス、電話やメールによるレファレンス、オンライン申込みによる利用登録、複写や館内閲覧資料の取り寄せを実施。
- ・HP やSNSによる資料紹介や調べ方案内。

図書館利用や読書活動に困難のある人へのサービス

- ・電子書籍サービス、資料の郵送貸出し、録音図書や点訳絵本の製作、貸出し、テキストデータの製作提供、オンラインを含む対面朗読サービスを実施。
- ・利用者向け読書バリアフリー講座の開催。
- ・公共図書館や特別支援学校向け研修会の開催。

超高齢社会に対応するサービス

- ・「はつらつライフ講座」、「はつらつ音読教室」等を開催。
- ・「はつらつライフなび（シニア支援コーナー）」を設置。

多文化共生意識の醸成につながるサービス

- ・外国語によるおはなし会を開催。多文化サービスの研究開発のためニーズ調査を実施。

【課題】

非来館型サービス

- ・各種手続きやサービス、イベント等のオンライン化。
- ・情報提供のさらなる充実。

図書館利用や読書活動に困難のある人へのサービス

- ・居住地域により障害者等向けサービスに差異があり、情報提供が不足している。
- ・アクセシブルな資料の収集や製作、製作人材の確保・育成が不十分である。
- ・視覚障害以外のサービスが不十分である。

超高齢社会に対応するサービス

- ・シニア世代の課題やニーズを整理し、関係機関と連携した新たな取組の研究が必要。

多文化共生意識の醸成につながるサービス

- ・多様な言語の資料収集、広報や案内が不十分。
- ・ニーズの調査分析や先進事例研究が必要。

【取組の状況】

DX による新しい非来館型サービスの研究 	・チャットボット等の技術を利用し、24時間対応の利用案内、調べ方案内、簡易なレファレンスのオンライン化・自動化対応ができるシステムを研究する。 ・利用者がスマートフォンから書架や資料展示を仮想的にブラウジングでき、資料の利用まで結び付けられるバーチャル図書館の開発、資料の紹介動画の作成なども研究する。
新しいバリアフリーサービスの提供 	・手話通訳者の配置やオンラインによる手話通訳サービス、託児スタッフの配置等に取り組む。 ・他機関との連携により、障害や発達段階に応じて遊べるおもちゃや福祉機器等に直接触れられるイベント、体験講座等を実施する。
多文化サービスの提供 	・関係機関と連携して、日本語を母語としない県民やその支援者のニーズを調査しサービス等について研究する。 ・母語に触れる児童書や、日本語・日本文化を学ぶ資料等を収集し、図書館見学会や外国語でのおはなし会等のイベントを実施する。
県立図書館資料の市町村等での受取・返却の検討・協議 	・非来館型サービス充実の一環として、県立図書館資料の県内市町村立図書館等での受取・返却について検討し、その実施に向けて県内市町村立図書館等との協議を進める。
講座・イベントのオンライン開催※ 	・ウェブ会議システム等を活用し、オンライン上での講座・イベントの開催、また、会場との同時配信する環境を整備する。
遠隔対面朗読の実施 	・ウェブ会議システム等を使用して、図書館に来館せずに自宅等で利用できる音訳サービスを提供する。
読書バリアフリーの全県へのサービスの普及 	・県内市町村立図書館等職員、学校教職員、支援者等への公開講座や出前講座、読書バリアフリー資料紹介セットの貸出し等を通してサービスの普及を図る。 ・サービスを必要とする人に情報が届くように関係機関と情報を共有するためのネットワークを構築する。
高齢者の「生涯現役社会」につながるサービスの研究 	・高齢者へのニーズ調査やサービス研究、高齢者に関する施策を行う他機関との連携によって、高齢者の社会参加や課題解決につながる情報提供やサービスを提供する。 ・市町村立図書館等を通じて県全体へのサービス普及を進める。

※講座のオンライン開催が定着してきたことによる変更

6 機能の重なりから生まれるもの

文化情報資源の活用を通じて、県民一人一人が学びによって、主体的に人生を設計していくことができるよう支援するとともに、知の創造と循環を生み出す具体的な実践の在り方について研究を進め、環境整備やサービスモデルの開発、普及に努める。

【現状】

県立図書館と県文書館との融合

- ・それぞれの規程、収集方針にもとづき、資料の収集、保存を実施している。
- ・行政資料(※)については、冊子やDVD等パッケージになっている資料を収集している。
- ・ボーンデジタル(※)の行政資料はプリントアウトして収集している。

※行政資料…県、国及び他の地方公共団体の刊行した資料。

※ボーンデジタル…初めからデジタルデータとして作成されるコンテンツ。冊子体が刊行されず、電子体のみが発行される書籍等。

博物館等関係機関との連携

- ・図書館が事務局となり、社会教育施設等意見交換会を平成25年度から年1回実施（令和5年度から年2回開催）している。
- ・図書館では、他機関の企画展に合わせた資料展示、他機関から講師を招いた講座の開催、他機関で作成したパネル資料等を借り受けての展示、他機関でのおはなし会等を行っている。

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等と連携した展示、講座等の実施回数 要覧 p36,45	25	13	16	18	24

知的交流の場の提供

- ・講座の大部分が専門家から話を聞く講義形式で、1回完結型の講座が多い。
- ・施設等の貸出しは公的機関に限っている。

【課題】

県立図書館と県文書館との融合

- ・ボーンデジタルの行政資料をデジタルデータとして収集保存できていない。
- ・各ウェブサイトを目視確認してプリントアウトし、収集しているが、収集漏れや業務量増加といった支障が生じている。

博物館等関係機関との連携

- ・他機関との関係は、単発の協力依頼等、表層的で一時的な連携に留まっている。
- ・他機関の事業内容等をよく理解し、継続的に質的にも充実した連携を実現する必要がある。

知的交流の場の提供

- ・図書館協力者やボランティア同士の交流・情報交換の場がなく、受講後の自主的活動の広がりや深化に乏しい。
- ・県内で活躍する図書館協力者・ボランティア等の企画・育成や、県内図書館協力者等の交流や合同研修についても、各自治体のニーズや状況を聴取しながら検討する必要がある。

【取組の状況】

行政資料アーカイブの構築 現在 → 開館 → 開館後	・県及び県内自治体が発行するオープンデジタル資料について、網羅的・効率的に収集・保存する方法を検討し、行政資料アーカイブの構築を目指す。
県内機関との連携強化 現在 → 開館 → 開館後	・連絡会議を定期的に行い、相互の館内研修等、個々の職員の参加する研修や人材交流の機会を増やす。
県民参加型プロジェクトの実施 現在 → 開館 → 開館後	・継続的に参加できる多様な県民参加型プロジェクトを推進し、その成果を図書館資料に取り込み、知の循環を実現する。 ・必要に応じて他機関と連携して実施する。
図書館協力者やボランティア等の交流会や合同研修会等 現在 → 開館 → 開館後	・県内各地で活動する図書館協力者や、ボランティア活動を行う県民、市民活動団体等の連携・協働を促進するための交流会、必要な知識・技術・技能の習得を通じた人材育成を目的とする合同研修会を実施する。
学び直しの場の提供 現在 → 開館 → 開館後	・学び直しを中心となっている自学自習の場としての機能・環境を維持・充実させる。 ・県民が、様々な交流を通して人脈形成することで連携・協働が促進できる場を整備する。
研修室や展示コーナー等施設の活用 現在 → 開館 → 開館後	・知的交流が目に見える形で実現する場として整備する。

《学校セット》

- ・テーマごとにセレクトされているため、生徒へ紹介しやすく、生徒も探しやすい。
- ・ラベルの整理番号は、本の整理整頓、確認しやすい。
- ・授業をする先生方にも紹介しやすい。
- ・10冊文庫のおかげで、読書会が実施しやすい。

《高校間貸出 → 協力車の巡回が必要な理由》

- ・禁帯出の辞書、事典、美術図録など、資料協力の便宜が得られ授業支援ができる。
- ・同じ本の複本を用意することで、多くの生徒が利用できる。
- ・資料収集、返却など協力車の巡回システムが整っていることは、授業担当者が資料収集を依頼しやすい。また、「お手を煩わせてすみません」「仕事を増やして…」等、遠慮がちに授業依頼されるが、協力車の巡回システムのおかげで気持ちよく授業相談ができ、司書側からも授業担当者に「こんな調べ学習・探究学習の資料があります」と授業支援のアプローチが可能になり、図書館の活用を促すことができる。

その他

- ・西部図書館、東部図書館の跡地は何になるのか。
- ・統合後、その他に地域の文化センターのような施設はできるのか。
- ・統合にあたり、最新の設備等、設備面での変化はあるのか。
- ・協力車の巡回システムは、各研修大会でも発表されている先進的なサービスである。是非、継続していただきたい。
- ・宅配サービスを継続してほしい。合わせて、千葉地区にも協力車の巡回システムを導入していただきたい。
- ・協力車の巡回システムが宅配サービスに変わると伺っているが、協力車の巡回システムの形式でサービスを継続していただきたい。

司書の大半が「3館統合により、協力車の巡回システム」のサービスがなくなってしまうのではないかと不安視しています。

多くの資料を必要とする授業支援では「学校セット」等の貸出が授業支援の要になっています。また、今回の意見集約で、「協力車の巡回システムサービス」への感謝が伝わりました。そして、生徒・職員への本の貸出・架け橋になっていることが改めて証明され、協力車の巡回システムサービスの「継続」を切に願っています。